

IV 地域別景観まちづくりワークショップ

1. 景観まちづくりアクションプランの提案

地域別景観まちづくりワークショップ第2回において、景観まちづくりに関する重点的な取組についてのアクションプランを作成しました。7地域、19グループから、35のアクションプランが提案されました。

～周南市の35の景観まちづくりアクションプラン～

地域	グループ・地区	アクションプラン 35
都心部地域 (徳山)	グループ1	1-1 観光の「原石」太華山の活用
		1-2 中心市街地のにぎわい景観づくり
都心部地域 (新南陽)	グループ1 (福川地区)	1-3 福川駅を明るく！福が輪！づくり
		1-4 八十八ヶ所・陶の道・篤姫本陣町の資料・看板づくり
	グループ2 (福川南地区)	1-5 竹林ボランティアによる竹林整備
		1-6 夜市川が福川と湯野・夜市・戸田をつなぐ取組
西部地域	グループ1	2-1 夜市川のネットワークづくり①
		2-2 景観を次世代へ引き継ぐ取組
北西部地域	グループ2	2-3 夜市川のネットワークづくり②
		2-4 夜市川を広める活動
東部地域	グループ1	3-1 都市部から人を呼び込む交流活動
		3-2 川をきれいにする取組
島しょ部地域 (鼓南)	グループ1	4-1 ウォーキング道づくり(新畑白石線)
		4-2 熊毛復耕ボランティア連絡協議会の設置
		4-3 遊休地を耕したふれあいの場づくり
		4-4 虎ヶ岳登山道の整備
島しょ部地域 (大津島)	グループ1	5-1 干潟の活用
		5-2 貴船祭の受け入れ体制づくり
北部地域 (中須)	グループ1 (中須・八代地区)	5-3 島内と島外のコラボレーションによるボランティア活動のしくみづくり
		5-4U ターン、I ターン対策
	グループ2 (須々万・長穂地区)	6-1 八代・中須地区相互の連携による取組
		6-2 景観お宝マップをつくろう
北部地域 (大道理)	グループ2	6-3 街を明るくする活動
		6-4 休耕田・空き家の活用
	グループ3 (和田地区)	6-5 空き家・空き畑対策
		6-6 芝桜の取組の協力
		6-7 魚切の滝の周辺整備
中山間部地域	グループ1	6-8 地域資源を探すツアー
		6-9 特産品の生産、販売
	グループ2	7-1 花いっぱいのもちづくり
		7-2 地域の景観づくりの組織・システムづくり
中山間部地域	グループ2	7-3 「鹿野の景観を語る会」をつくる
		7-4 空き家バンクの取組

■周南市地域別景観ワークショップ第2回 ―アクションプラン一覧―

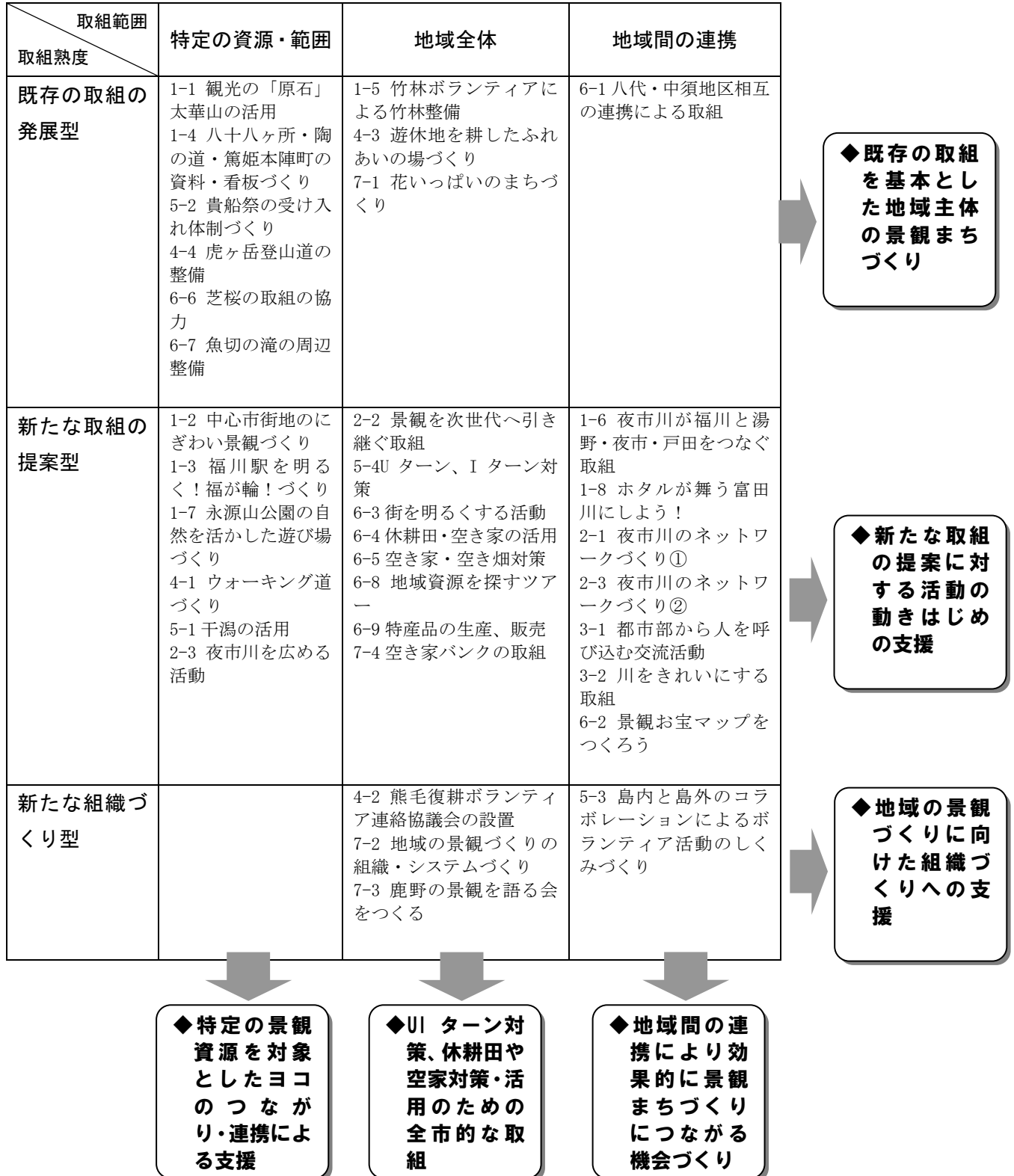
地域	グループ・地区	眺望景観を守るための取組	自然景観を守るための取組	島なみ景観を守るための取組	田園景観を守るための取組	歴史的な景観を守るための取組	文化的な景観を創出するための取組	都市景観を創出するための取組	公園・緑地景観を守り、創出するための取組	まち・集落景観を守り、創出するための取組	体制・組織づくり、仕組みづくり	意識の醸成・担い手の育成	情報発信・PR	地域間や団体間の連携	その他
都心部地域 (徳山)	グループ1	・観光の「原石」太華山の活用						・中心市街地にぎわい景観づくり							
都心部地域 (新南陽)	グループ1 (福川地区)					・八十八ヶ所・陶の道・篤姫本陣町の資料・看板づくり		・福川駅を明るく！福が輪！づくり						・八十八ヶ所めぐりの資料、看板づくり【再掲】	
	グループ2 (福川南地区)		・竹林ボランティアによる竹林整備 ・夜市川が福川と湯野・夜市・戸田をつなぐ取組												
	グループ3 (富田地区)		・ホテルが舞う富田川にしよう！						・永源山公園の自然を活かした遊び場づくり						
西部地域	グループ1		・夜市川のネットワークづくり①									・景観を次世代へ引き継ぐ取組			
	グループ2		・夜市川のネットワークづくり②										・夜市川を広める活動		
北西部地域	グループ1													・都市部から人を呼び込む交流活動	
	グループ2		・川をきれいにする取組												
東部地域	グループ1	・ウォーキング道づくり			・熊毛復耕ボランティア連絡協議会の設置										・ウォーキング道づくり【再掲】
	グループ2		・虎ヶ岳登山道の整備		・遊休地を耕したふれあいの場づくり										
島しょ部地域 (鼓南)	グループ1			・干潟の活用			・貴船祭の受け入れ体制づくり								・貴船祭の受け入れ体制づくり【再掲】
島しょ部地域 (大津島)	グループ1										・島内と島外のコラボレーションによるボランティア活動の仕組みづくり	・Uターン、Iターン対策			・Uターン、Iターン対策【再掲】
北部地域 (中須)	グループ1 (中須・八代地区)												・景観お宝マップをつくらう	・八代・中須地区相互の連携による取組	
	グループ2 (須々万・長穂地区)				・休耕田・空き家の活用					・休耕田・空き家の活用【再掲】 ・街を明るくする活動					
北部地域 (大道理)	グループ1 (大向地区)				・空き家・空き畑対策					・空き家・空き畑対策【再掲】					
	グループ2 (大道理地区)		・魚切の滝の周辺整備 ・芝桜の取組の協力				・芝桜の取組の協力【再掲】								
	グループ3 (和田地区)												・地域資源を探すツアー ・特産品の生産、販売		
中山間部地域	グループ1									・花いっぱいまちづくり			・地域の景観づくりの組織・システムづくり		
	グループ2									・空き家バンクの取組	・鹿野の景観を語る会をつくる				

赤字＝景観を創出することを目的とした取組
 緑字＝景観を保全することを目的とした取組
 青字＝組織づくりを目的とした取組

2. アクションプランの類型化と取組の方向性

35 のアクションプランを取組熟度の視点（既存の取組の発展型、新たな取組の提案型、新たな組織づくり型）と取組範囲の視点（特定の資源・範囲、地域全体、地域間の連携）から、アクションプランの類型化を行い、状況に応じた取組の方向性を整理します。

■アクションプランの類型化



◆既存の取組を基本とした地域主体の景観まちづくり

- ・これまでのまちづくり活動などの地域での主体的な活動を基本としながら、景観を意識した活動の展開や活動への参加を呼びかけながら、行政との連携や支援を受けながら地域主体で景観まちづくりに取り組む。

取組の方向性

- ・活動・イベントの紹介（ホームページなど）
- ・活動への参加者拡大に向けた募集活動
- ・ボランティアガイドの育成支援
- ・活動に関連した環境整備 など

◆新たな取組の提案に対する活動の動きはじめの支援

- ・地域の景観を創出・保全するための新たな取組の提案について、景観アドバイザー派遣や提案型の活動に対する支援制度などを検討し、地域での景観まちづくり活動につながる支援を行う。

取組の方向性

- ・景観アドバイザー（専門家）の派遣
- ・モデル事業などの募集情報の発信
- ・地域での実施計画づくり支援
- ・提案型の景観まちづくり支援制度の創設 など

◆地域の景観づくりに向けた組織づくりへの支援

- ・特定のテーマに沿った組織づくりに向けて、コミュニティ推進協議会との連携を図るとともに、地域の主体的な組織づくりに対する専門的支援や人材の育成を支援する。

取組の方向性

- ・景観アドバイザー（専門家）の派遣
- ・コミュニティ推進協議会での景観部会の設置検討
- ・ボランティアガイドの育成支援 など

◆特定の景観資源を対象としたヨコのつながり・連携による支援

- ・太華山や貴船祭、虎ヶ岳、八十八ヶ所などの特定の景観資源については、地域振興施策や観光振興施策と連携しながら、庁内のヨコのつながりと連携により、テーマに応じた総合的な支援を行う。

取組の方向性

- ・関係課との連携による総合的な支援
- ・関係機関との協議・調整
- ・地域振興施策や観光振興施策との連携 など

◆UI ターン対策、休耕田や空家対策・活用のための全市的な取組

- ・UI ターン対策、休耕田や空家対策は、地域の景観を守っていくための共通の課題として、市全体としての制度の充実や定住対策により、全市的な取組を検討する。

取組の方向性

- ・中山間地域への定住対策
- ・空家バンク制度や休耕田のオーナー制度などの充実
- ・周辺都市との連携強化・情報発信 など

◆地域間の連携により効果的に景観まちづくりにつながる機会づくり

- ・夜市川や富田川などの地域の越えた景観資源については、地域間交流の場づくりや地域を越えた協議会などの設置支援により、効果的な景観まちづくりに取り組む。

取組の方向性

- ・地域や企業との連携
- ・地域間交流の場づくり
- ・地域を越えた景観まちづくり協議会などの設置 など

3. 提案の流れ（ワークショップの流れ）

地域別景観まちづくりワークショップにおいて、以下の流れで検討し、2回を通じて主に「何を?」「誰が?」「いつ?」「どこで?」「どのように?」取り組むのかに視点を置いて、各アクションプランを提案しました。

第1回

テーマ

景観まちづくりの方向性と地域での活動を語る

《グループワーク①》

- (1) 市民意識調査結果の報告
- (2) 地域の景観資源の宝と問題点

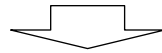
《グループワーク②》

Why（なぜ？）

- (3) 地域別の景観まちづくりの方針と取組について説明
・・・〈方針と取組に関する資料を準備〉

What（何を？）

- (4) 活動団体の取組紹介（こんなこともしている）
方針に基づいた取組の提案（あんなこともしたい）



景観資源・問題点の洗い出し、地域別の取組を充実



第2回

テーマ

景観まちづくりの実践に向けたアクションプランをつくる

《グループワーク①》

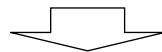
When（いつ？） Where（どこで？）

- (1) アクションプランの作成
・・・〈アクションプラン作成シートの作成〉

《グループワーク②》

How（どのように？）

- (2) 行政や企業との連携策の提案
・・・〈アクションプラン作成シートの作成〉



活動団体における景観まちづくりの実践、連携策の検討

4. 35の景観まちづくりアクションプラン

1—1 都心部地域（徳山）：アクションプラン1

観光の「原石」太華山の活用

・太華山を観光資源として活用して、太華山へ人を呼ぶためのアクションプランである。

◎取組の目的

目的① 自然を保全するため（自然公園なのに荒れている状態）

目的② 開発しながら活用するため

連携しながら進める

◎取組の主体

（1）「保全するため」の主体

- ・ 櫛浜愛山会（50名程度）
- ・ 地元での活動を充実 など

連携

（2）「活用するため」の主体

- ・ 樹木観察会
- ・ 案内人さんとの連携 など

◎取組内容

（1）「保全するため」の取組

- 取組①：清掃活動（週2, 3回）
- 取組②：木を切って眺望確保
- 取組③：看板設置

連携

（2）「活用するため」の取組

- 取組④：着地型観光
- 取組⑤：大津島、下松含めて広く活用
- 取組⑥：お金をおとす仕組み

- ・ 漁場
- ・ ヨットハーバー
- ・ みかん園（果樹園）
- ・ 砂浜 など

◎進めるための具体的取組

取組⑦：太華山をPR

- ・ 「登山」で売り出すのは難しい
- ・ ハイキング（子どもも楽しめる）縦走路ルート

1) 外へPR

- ・ ポスターなどの撮影ポイントであることをPR
- ・ MAPの作成
- ・ ホームページに掲載
- ・ 年配の方をターゲットにPR

2) 地元へPR

- ・ 地元の人が登る山にする
- ・ 生涯学習での活用（地域の行事など）

取組⑧：きっかけづくりの取組

- ・ 山びらき
- ・ 初日の出
- ・ 一周サイクリング
- ・ 春と秋のクリーンハイキング（JRのふれあいウォークにのっている）
- ・ 四季を楽しむ
- ・ 子どもと一緒に山の清掃（山の日）

◎取組の役割分担

＜地域・住民の役割＞

- ・エピソード・ストーリー売り出し方
- ・恋人の聖地
- ・「ロコミ」で火をつける
- ・櫛浜だけでなく、他の地域のコミュニティを巻き込む
- ・市街地をとりかこむ山々で連携する
- ・写真集 360° いろいろな場所（周辺）からどう見えるか視点場を見つける

＜事業者・団体の役割＞

- ・フグとセットで飲食業との連携
- ・のむらこうすけKRYとタイアップ

＜行政の役割＞

- ・交通の便の改善
- ・太華山までの交通手段
- ・駐車場（現在ない）
- ・市の観光パンフレットに掲載
- ・案内表示わかるように整備



＜太華山から見る市街地＞



＜太華山から望む瀬戸内海＞

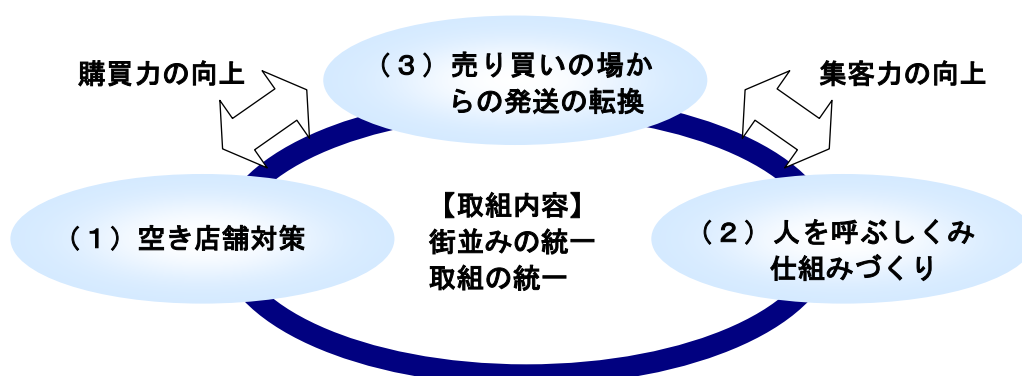
中心市街地のにぎわい景観づくり

◎取組の目的

目的① 楽しくにぎわう場所にするため

目的② 若者が遊べる場所にするため

◎取組の方向性



(1) 空き店舗対策

取組①：家賃を払っても商売したくなる魅力づくり

【現状】

- ・借家が多い
- ・商店街で日常的な消費が減少
- ・買い物の郊外化
- ・権利者の制限
- ・殿様商売、昔のままではだめ

【改善点】

- ・日常から商店街で消費する働きかけが必要
- ・買い物の郊外化に対する意識改革が必要

(2) 人を呼ぶしくみ仕組みづくり

取組②：アンテナショップ

取組③：骨董市・えびす市・フリーマーケットなど

取組④：ストリートミュージシャン

取組⑤：PH通りにおける明かりのイベント

取組⑥：若者が集うイベント広場づくり

(3) 売り買いの場からの発送の転換

- ・「場」の切りかえ、若い人がチャレンジする場にする
- ・人が住む場として、若者もお年寄りも住めるようにする

◎取組内容

- ・街並みの統一・取組の統一が必要である。
- 取組⑦：「食」による店の名物化
- 取組⑧：グルメストリートなど街のカラーを統一
- 取組⑨：ポイントのPR
- 取組⑩：PR・ストーリーなどのしかけづくり

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・身の回りの商店がなくなると困るのは近隣住民である。
- ・住民もまちを育てる意識をもつ
- ・中心市街地を意識する

《事業者・団体の役割》

- ・ものを売るだけでなく「サービス」（いつでも対応する）提供

《行政の役割》

—



<商店街（銀座モール）>



<中央商店街>

福川駅を明るく！福が輪！づくり

- ・福川駅を明るくするため、地域で持ち寄り、クリスマスイベントやイルミネーションに取り組み、みんなで“福が輪”づくりを行うアクションプランである。

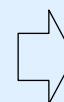
◆クリスマスイベント・イルミネーション

- ・みんなが持ち寄ればよい
- ・家のイルミネーション感覚で駅を飾る
- ・終わったら各々で持ち帰る



〔電気代は
JRもち〕

※JRにお願いする



駅が暗い
↓
駅を明るく

◎取組の目的

目的① まず、まちの元気の象徴である福川駅を元気に！

目的② 人通り、利用を多くするため（不良も居づらい、非行に走らないため）

目的③ たむろする少年を地域の力に！

◎取組の主体

- ・自分たちが動けば、自分たちでできる。

◎取り組む場所

- ・福川駅を中心とした地域



◎取組の方策

取組①：まず地域が動く

- ・福川駅を地元でにぎやかにする（ボランティアで材料は用意する）。
- ・JRを動かす必要がある。



取組②：少年たちをまきこむ

- ・松田素子さんに絵を描いてもらおう。
- ・たむろしている少年たちにペンキ塗りや枠づくりを頼んでみる。



取組③：子どもに絵を描いてもらう

- ・みなみ会館に昔の絵などが残っている。
- ・子どもに昔の福川の絵を描いてもらう（ギャラリー）。



取組④：福川のシンボルロードをつくる！

- ・福川と福川南に共通して協力しあえるのは駅
- ・憩いの場があるとよい（明るければそれができる）。

【デートコース】ふれあいセンター⇒歩道橋⇒駅⇒福川のまちなみ



取組⑤：駅を拠点に福川をPR！

- ・八十八ヶ所のPRをしたり、駅を降りたらお接待をする。
- ・駅に福川の地図各所の案内などのパンフを置く。

【萩市の例】吉田松陰から森木外へ〇〇ロード→陶の道など、〇〇ロードに



取組⑥：ストーリーロードを整備

- ・有名になれば人も来る。
- ・屋台が出たり、花火があるとなおよい。



取組⑦：まちも元気に！

- ・福川の店の人にも元気になってもらう

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・調整する人物
- ・会社が休みにくいなど調整など難しい

《事業者・団体の役割》

- ・駅員さんの常駐
- ・駅舎をガラス張りにして
- ・JRに明るくしてもらう

《行政の役割》

- ・警察との調整
- ・川の工事にしても福川の人の希望がきかれていない（県）

◎昔はいいイベントがあったのに・・・

◆トライアスロン長田ができていた

- ・桑原へ向けていけばよいのではないかな。
- ・企業の私道でする方法もある。

◆ロックタウンができるまでロードレースがあった

- ・いい祭りが行政（警察）につぶされてきた・・・。

八十八ヶ所・陶の道・篤姫本陣町の資料・看板づくり

・88でなくても29（ふく）がわで、29ヶ所でもよい。

◎取組の目的

目的① 若い人に福川に住んでもらうために（そのためには、区画整理）

目的② 福川の歴史、よいところを見つけよう！（歴史の伝承）

◎取組の主体

◆自分たちでまずやるには・・・

- ・回覧板で人を集めて、あちこちきれいにしていけばいい
- ・まずはどこにあるかウォッチング
- ・年寄りなどに話をききにいく（インタビュー）
- ・昔の写真を提供してもらう（写真展など）
- ・ボランティアガイドから歴史の話を引き継ぐ



◆最初から決めるより

- ・やっていくうちに同志が集まってくるそのほうが楽しい。

◎資料・看板づくりの材料

《歴史》

- ・忠魂碑（ちょっと暗い・・・木がしげったり⇒上がりやすい道にする。きれいにする。

《伝説》

- ・白いカラス
- ・福川のへび伝説（辰尾神社）
- ・地元の幽霊伝説はないか（遠野物語のように）
- ・すべり台で遊ぶカラス
- ・羽島の古墳はスゴイ武将

《昔のまちなみ》

- ・間口が狭いところが多い（昔はトロッコを走らせていた）⇒〇〇ロードにする
- ・防火の面で不安⇒火災警報器をつけて近所でもわかりやすくする。

《昔の技》

- ・柏屋の龍の紋—左官の技

《酒》

- ・松田さんのところ男自慢

《方言》

- ・福川弁（富田とちがう）を集める。
- ・漁師まちの高齢者が使う言葉。

《海》

- ・大津島の瀬戸浜もすぐ近く、島との連携もある。
- ・長田海岸を長田の人できれいにしていた。
- ・海あり、山あり、とってもいいところ！（長野から来た方）

《まちと人》

- ・福川のまちなみをバックに「昭和の美少女図鑑」（おばあちゃん）をつくる



歴史資料館との連携



- ・ **まずは、今年のクリスマスに向けて、
駅周辺から福川 & 福川南連携で動きは
じめよう！**
- ・ **駅南の陸橋にネーミングする**

竹林ボランティアによる竹林整備

- ・長田で始めているボランティア事業がうまくいけば、大きな可能性があるアクションプランである。

◎取組の目的

目的① 竹が広がって山が荒れるのを防ぐため（竹林を適切に管理していく）

目的② 山の景観を守るため

目的③ 人（子ども）が入れるように【体験】

【課題】

- ・地主のみではなかなか管理できない
- ・全ての竹林をボランティアで維持するのは難しい

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・長田自治会の有志グループ（10人）
- ・竹林ボランティアグループ（地区ごと）

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・農林事務所
- ・地主

◎取り組む場所

- ・行きやすい場所の竹林で取り組む（人が入ることを考える）
 ……長田、室尾、中開作、羽島など

◎取組のスケジュール

前期				中期				後期			
取組①：講習会を行う				取組⑤：他の地区に広げる							
取組②：地主に相談する											
取組③：竹炭をつくる											
取組④：畑に植える											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		タケノコ収穫						竹の切りどき			

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・ 楽しみ半分、実益半分で取り組む
- ・ 自治会の補助
- ・ マムシへの安全対策
- ・ 地主を調べる

《事業者・団体の役割》

- ・ 魚礁を作る
- ・ 材料にできる

《行政の役割》

- ・ 森林税の活用・投入
- ・ モデル竹林（私有林）
- ・ チップ化（機械は県が貸してくれる）

夜市川が福川と湯野・夜市・戸田をつなぐ取組

・夜市川における河川清掃や水とふれあう空間づくり、夜市川草刈りなどの活動を通じて、上流から下流までが統一した考えをもって、福川と湯野・夜市・戸田をつなぐアクションプランである。

◎取組の目的

目的① 景観に配慮した整備（雨水排水）のため

目的② 湯野・夜市・戸田と夜市川のつながり・連携による上流ため池将来計画

目的③ 地域の人々の盛り上がりとコミュニティを通じてまちづくりを進めるため

【課題】

- ・土がたまる、草が生える。（古川年1回の清掃）
- ・雨水対策（夜市川がきれいにならなければ海水浴場が荒廃する）
- ・夜市川左岸の芝の管理（地域がやっている）
- ・左岸側西の端の清掃（継続していく）
- ・右岸側・清掃していない（問題である）

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・地域住民（実働）
- ・湯野・夜市・戸田が連携する独立の組織をつくる
- ・リーダーが必要！

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・自治会・協議会
- ・みなみ会館中心に役割分担
- ・福川の漁師、和田の農家
- ・環境衛生自治会 など

◎取り組む場所

- ・『夜市川文化園』
- ・『道の駅』を交流の拠点で、他にない仕掛けを取り組む⇒大きな可能性
- ・『夜市川河川内』の竹の茂り（なんとかしなければ）

◎取組のスケジュール

前期	中期	後期
取組①：まず行政から、4地区に投げかける	取組③：4地区合同組織づくり（各地区は支部）	取組⑤：環境美化（ゴミ拾いなど）
取組②：自治会を中心とした取組	取組④：関係自治会から役員を選出	取組⑥：川沿いウォーキング 長田⇄湯野
		取組⑦：イカダレース（復活）

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・他の地区と話し合う（夜市川4地区）
- ・組織づくりの企画・立案

《事業者・団体の役割》

- ・活動への協力・支援

《行政の役割》

- ・自治会役員 最低2年間 報酬をふやす
- ・（河川）県にオブザーバーになってもらう

永源山公園の自然を活かした遊び場づくり

・周南市のシンボルであるゆめ風車や永源山の景観を守るとともに、ゆったりくつろぐ場所、子ども秘密基地のような場所として活用していくアクションプランである。

◎取組の目的

- 目的① 山口県を代表する公園にするため
- 目的② 永源山の自然そのものを体験できるようにするため
- 目的③ 子どもと大人がいっしょに遊べるようにするため
- 目的④ 子どもたちが有意義に遊べるようにするため



<永源山公園>

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・子ども会
- ・レクスポ
- ・老人クラブ

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・公園花と緑課



◎現状と課題

(1) こんな使い方をしている

- ・山が生活の場であった。マキを取っていた。
- ・フリーマーケットのみの市（市の許可）。
- ・企業で新入社員掃除とかしている。
- ・60才以上、幼児が多い。

(2) 使いにくいな、遊びにくいな

- ・公有地、民有地があって、使いにくい。
- ・「すべるな」「あそぶな」の看板がある。
- ・ボールを使ってはいけない。⇒エリア分けしたらよいのでは。
- ・広場から風車までがけもの道。
- ・勝手に板や木を持って入ってはダメ。

(3) こんな遊びができたらいいな

- ・山全体を使ったあそび（鬼ごっこ、かくれんぼ など）。
- ・ワイルドに山へ入ってあそべるように。
- ・ヤブを刈って遊べるようにする。
- ・少々自由にできるようにしたらどうか。

(4) こんな施設・整備があったらいいな

- ・遊歩道階段が多いスロープが良い。
- ・屋根が欲しい。
- ・常設スポーツ競技場（例：グランドゴルフ場）。
- ・幼児広場をもう少しきれいにしてほしい。

◎取組のスケジュール

前期	中期	後期
取組①：年間イベント見直し	取組⑥：下草を刈る	
取組②：使い方、イベントをみんなで考える	取組④：利用者の目線で環境の総点検	
取組③：子ども会、レク、老人クラブなど一緒になって取り組む		
取組④：クロスカントリー大会		
取組⑤：一緒に考える人を集めよう		

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》	《事業者・団体の役割》	《行政の役割》
—	—	<ul style="list-style-type: none">・ある程度の予算は必要（組織的に使えるもの）・景観を守るためにボランティアを公募して取り組む

みんなで取り組もう!!

- ・立地条件がすばらしい。
- ・周南、山口、防府、50万人の場所としてPRすべき。

ホタルが舞う富田川にしよう！

・富田川ビオトープなど、富田川の自然景観保全と生物多様性に向けたアクションプランである。

◎取組の目的

- 目的① 富田川に親しめるように
- 目的② 親しみやすい場所になるように
- 目的③ 遊べる場所をつくるために
- 目的④ 川沿いを安全に歩けるように

【課題】

- ・サヨリ、ハゼがいない 戻って
きて欲しい
- ・市民の憩いの場が必要

◎強みと弱み

強み

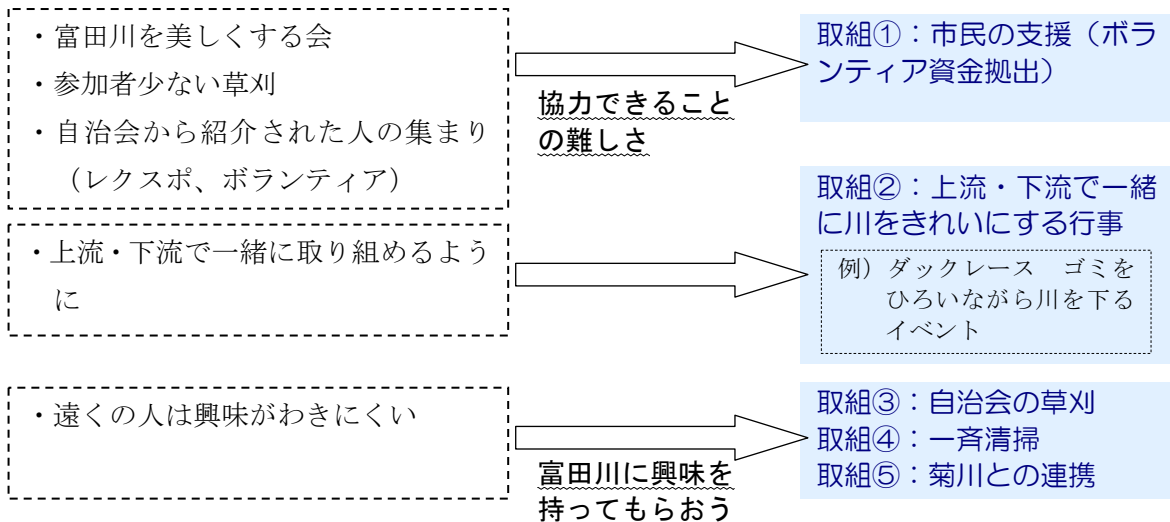
- ・サギがいるすばらしい景観！
- ・青サがとれる、食べられる。
- ・手長エビ、うなぎ、アユがいる。
- ・上流（土井）にはホタルもいる。
- ・富田地区をアピールするもの。
- ・泳げる。
- ・散歩、ジョギングの人も多い（鹿野からの通り道になっている）。

弱み

- ・河口近くは流れが停滞している、汚い。
- ・ヘドロきたない。
- ・音羽橋周辺は交通量が多い。
- ・音羽橋は川に落ちる。
- ・身近に遊べない。
- ・遊歩道があればよい。
- ・進入禁止 など

◎取組の方向性

（1）富田川をきれいにする



(2) 親しみやすい場所にする

取組⑥：富田川全体のマップづくり

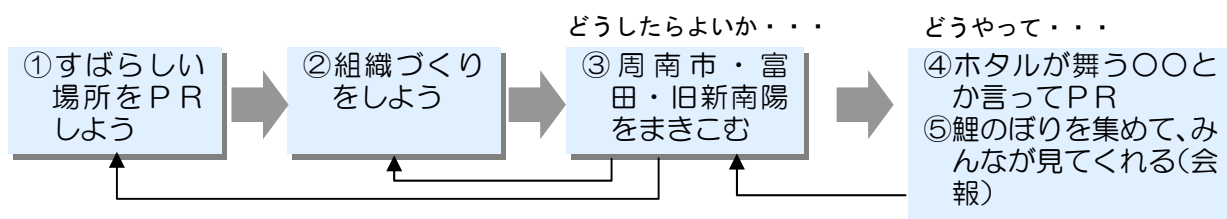
- ・流域マップ
- ・川であそべる場所マップ など

(3) 交通安全

取組⑦：朝は進入禁止があるが、夕方車両の規制を！

取組⑧：遊歩道、サイクリングロードの設置

◎取組の流れ



<富田川>

夜市川のネットワークづくり①

・清流夜市川の景観を守るため、川遊びが継続してでき、子どもを川に戻すために、湯野・戸田・夜市地区が連合して取り組むアクションプランである。

◎取組の目的

目的① 川遊びができる川を守るため

目的② ホタルをとりもどすため

目的③ サンサンロードを整備するため（サイクリングロードなど）

【課題】

・中島に砂がたまってこまっている。

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・湯野・戸田・夜市の住民
- ・各公民館職員
- ・若者
- ・夜市川マップを作る人
- ・環境調査をする人

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・老人会
- ・自治会
- ・子ども会
- ・PTA
- ・かっぱ応援団
- ・ホタル飼育の指導者
- ・周南土木事務所

◎取組内容

(1) 花壇づくり・花植え

取組①：湯野花壇づくり（PTA、老人会）

取組②：こもれびロードの作り直し、花植え（戸田地区コミュニティ推進協議会）

(2) 河川での取組・活動

取組③：鮎の放流（清流会、西部地区有志）

取組④：戸田駅裏での川遊び

取組⑤：湯野から福川まで同じ日に河川清掃

(3) 啓発

取組⑥：組織づくり（夜市川ネットワーク）

取組⑦：公民館職員が教室、県（河川担当）と話し合いを行う

取組⑧：現状確認ウォーキング、現状MAPづくり

(4) 調査・整備

取組⑨：生態系調査

取組⑩：多自然型護岸整備

取組⑪：魚道整備

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・3地区の代表で話し合う。
- ・ネットワークをつくる。
- ・共通の行事をする。
- ・クリーンネットワークと協働する。
- ・夜市川の良さを啓発する。
- ・分科会の発足。
- ・子どもといっしょに環境教室を行う。
- ・先進地区に学ぶ。

《事業者・団体の役割》

- ・企業からのサポート
- ・企業との連携
- ・某コンビニグリーンネットワーク
- ・共同参画（中小企業問わず）

《行政の役割》

- ・県に要望を伝える。
- ・下水道の普及。
- ・3地区のネットワークづくりを支援する。
- ・職員を増やす。
- ・補助金をさがす。
- ・蛍の講習会を行う。



<夜市川>

景観を次世代へ引き継ぐ取組

◎取組の目的

目的① 新しい人を呼び込むため

目的② 地域ぐるみのコミュニケーションを高めるため

目的③ 若い人に興味を持ってもらうため

目的④ 地域の伝統を守る（民話）ため

目的⑤ 後継者づくりのため

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・今活動されている方
- ・幼少のころから活動している子ども
- ・団塊の世代 など

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・青年団活動
- ・公民館主事
- ・若者
- ・観光ボランティア
- ・イベントの指導者
- ・学校の先生 など



◎取り組む場所

取り組む場所

- ・公民館
- ・地域の名所
- ・地域の語りべ

取り組む行事

- ・地域の祭り
- ・いけいけフェスタ
- ・桜田神社祭り
- ・子ども会への参加
- ・各地域の文化祭

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・募金箱の設置。
- ・ボランティアビジネスの仕組みづくり。
- ・景観資源の維持管理。
- ・転入者への声かけ。
- ・3世代交流の行事を企画。
- ・子どもが親を引っばってくる。
- ・啓発を繰り返す。
- ・道の駅で若い人に働いてもらう。

《事業者・団体の役割》

- ・企業への働きかけ。

《行政の役割》

- ・各地域に青年団活動を復活させる。
- ・民話（冊子）記録に残す。
- ・3世代が参加できる仕組みづくり。
- ・若者定住の促進。

夜市川のネットワークづくり②

◎取組の目的

目的① 夜市川を歩くため

◎取組の方向性

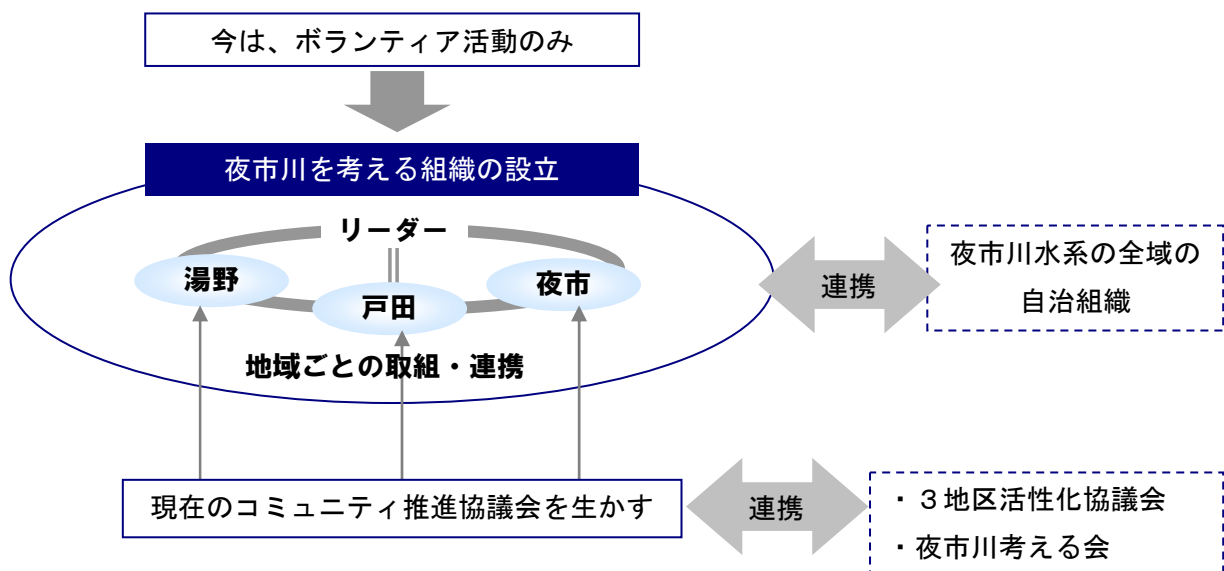
(1) 道の駅周辺を拠点とする

- ・夜市川の流れ“鯉”の遊泳再現（道の駅周辺）
- ・道の駅のそばの整備 など

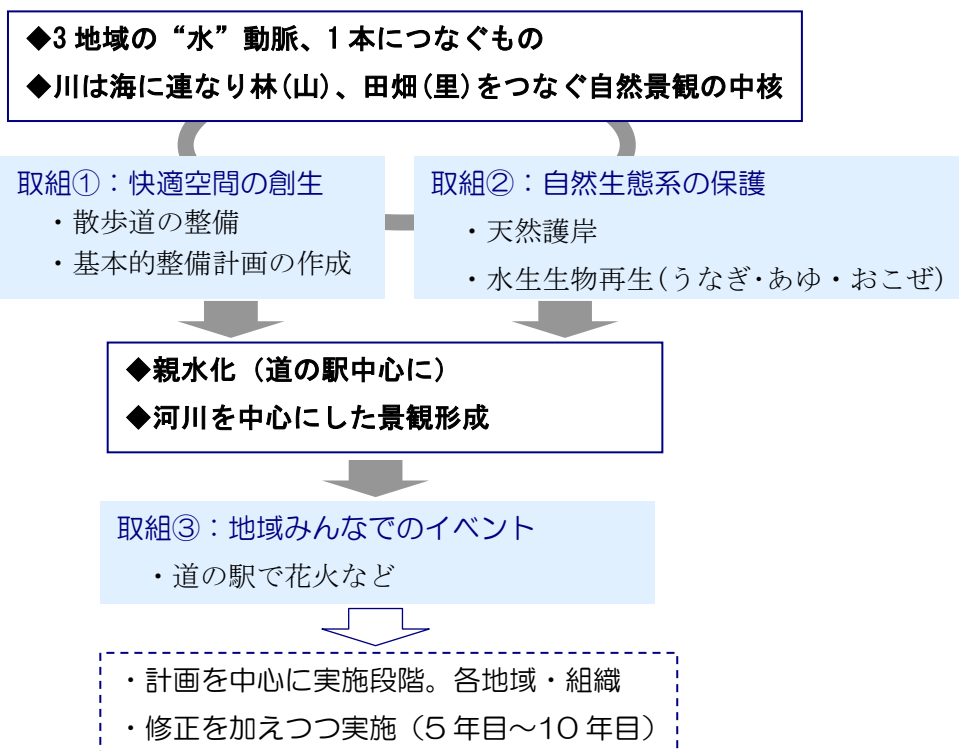
(2) 湯野・戸田・夜市地区が連携しネットワークを整備する

- ・湯野・戸田・夜市地域一体的に自然、天然環境を保存、保護しながら、夜市川の整備
- ・夜市川サンサンロードを戸田道の駅から戸田と湯野、夜市を続ける
- ・ヨシ草の刈取り
- ・サンサンロードわかりやすいコース標識
- ・夜市川清掃 など

◎取組の主体



◎取組の方策

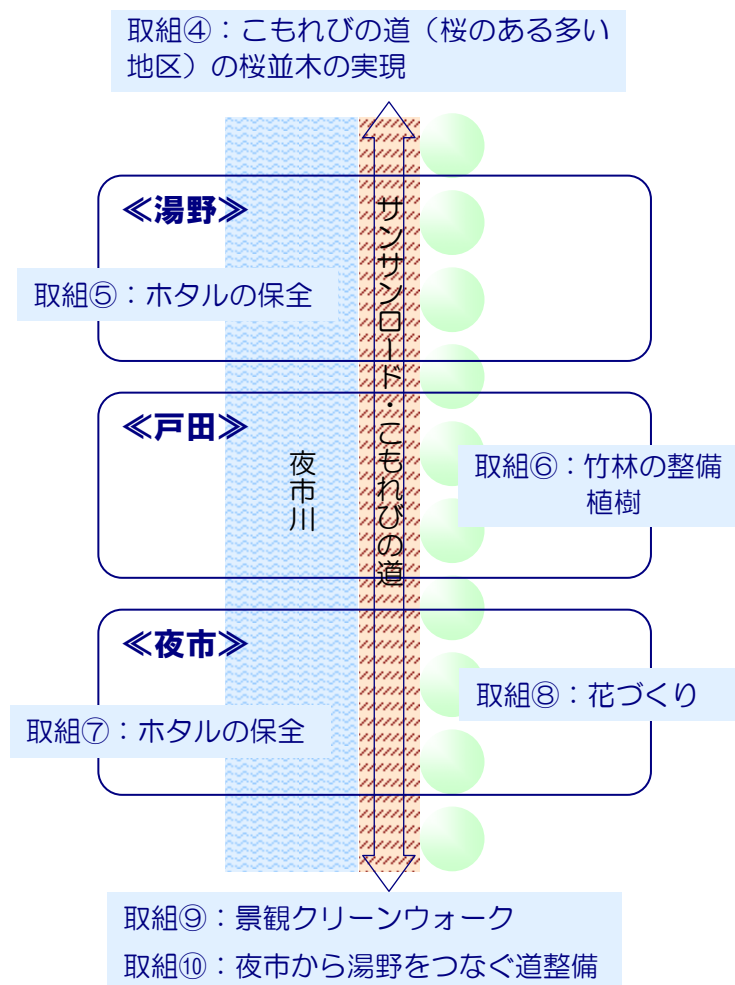


◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・まず、組織づくり
- ・役割分担をそれぞれの組織で考える。
- ・出席して皆で話し合う。
- ・皆の意識向上(汗かく人が大切)

◎地域別に特徴をもった取組



夜市川を広める活動

◎取組の目的

目的① 外へ広めるため—自然景観の必然、良好形態の創出

目的② 地域へ広めるため—意識の高揚と共有化

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・各種組織（中核組織で企画・立案）
- ⇒組織の中で計画立てる

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・青年会議所
- ・ボランティアガイド

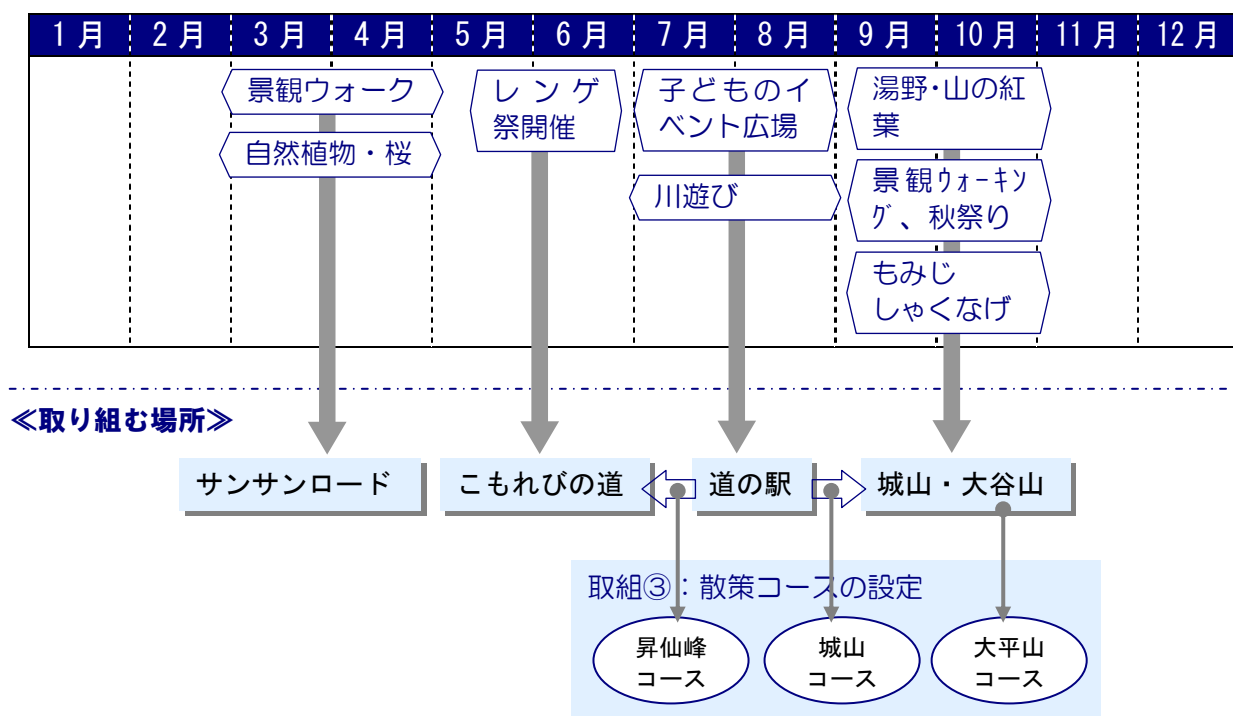
◎取組内容

取組①：こもれびの道の整備

- ・四季折々の花、花壇設置
- ・ベンチの設置

取組②：イベント・散策

◎取組②：イベント・散策の取組スケジュール



◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・各コースを各地域で世話
- ・散策ルート・コース設定
- ・歩くメニューの検討
- ・景観マップ、地図づくり

《事業者・団体の役割》

—

《行政の役割》

- ・住民でできない部分を支援
- ・コンクリートでなくてよい

都市部から人を呼び込む交流活動

◎取組の目的

- 目的① 子どもを集めるため
- 目的② 若者が戻ってくる（残る）ようにするため
- 目的③ 棚田の景観を守るため（耕作地の利用）

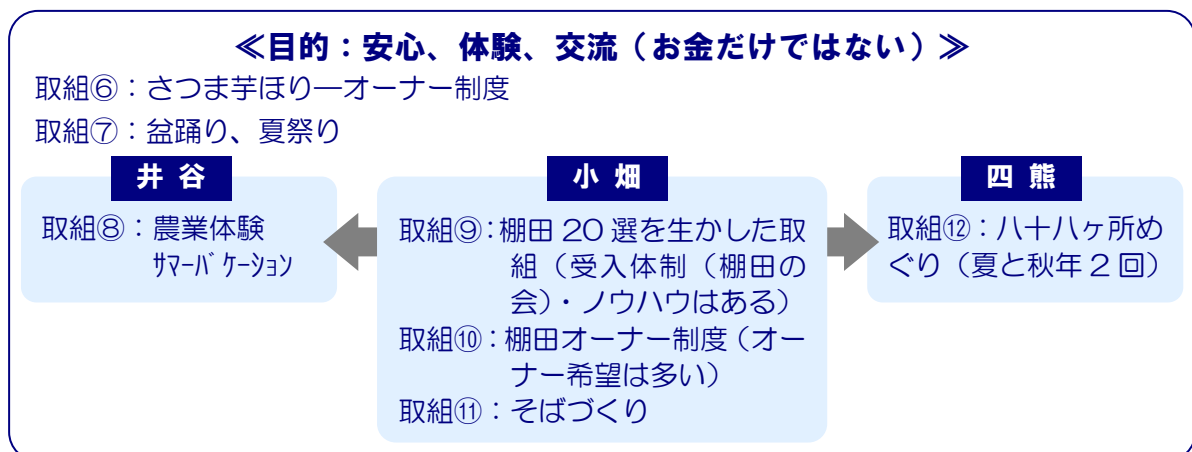
【棚田を守るための問題点】

- ・ 棚田が荒れると景観は台無しになる
- ・ 棚田は非効率であり、「農地を守る」と「棚田を守る」のは違う
- ・ 個人での取組は限界がある（交通、保険など）
- ・ 高齢化、人がいない

◎取組内容

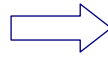
- (1) 全体に広げる
 - 取組①：グループで保全
 - 取組②：若い人が手伝う仕組み、しかけづくり
- (2) 経験豊かな人を生かす
 - 取組③：経験を生かした取組により癒しをPR
- (3) 生活環境の改善
 - 取組④：定住対策、祭で帰省＝「愛着」を深める
- (4) 現在あるものを活用
 - 取組⑤：地域資源を活用（地域の特徴、魅力は何か）

◎地域資源の活用の具体的取組



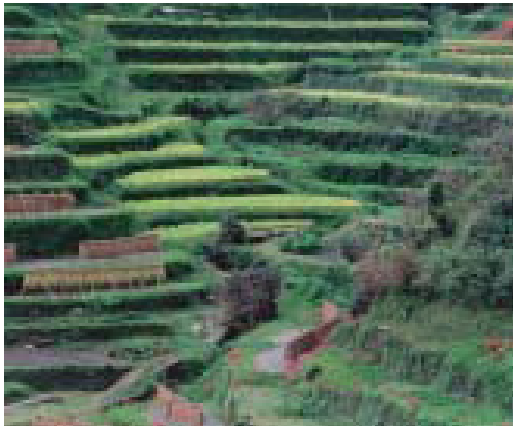
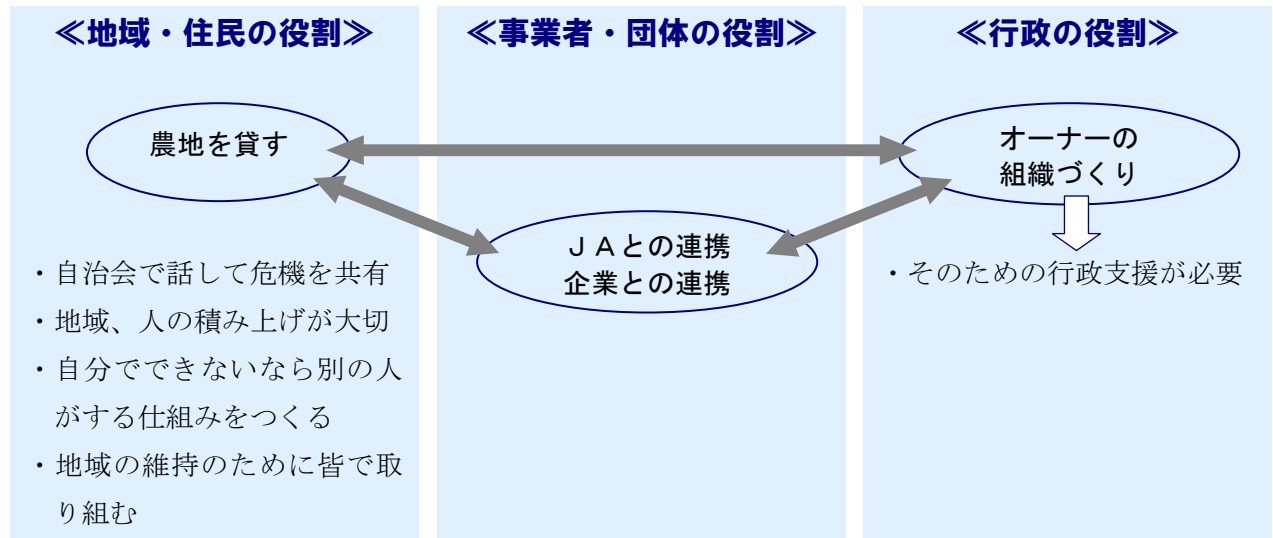
◎取組にあたっての課題

- ・きっかけづくりで終わっている
- ・取組がなかなか定住につながらない



連動が必要！

◎取組の役割分担



＜四熊の棚田＞

川をきれいにする取組

◎取組の目的

- 目的① 川への愛着、魅力アップのため
- 目的② 自然を取り戻すため（川、水質の改善）
- 目的③ イベント開催のため（アユ釣り、放流）
- 目的④ みんなが集まる場所、子どもの遊び場にするため（川に集まる環境づくり）

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・自治会（草刈）
- ・菊川のまちづくりの会
- ・親水会（会員制、100人一夜桜祭、いも煮会）
⇒ホタル放流、アユの稚魚の放流



《連携・協力が必要な団体・人》

- ・青年団、若者（後継者を育成）
- ・でこぼこ会（竹炭、浄水化）
- ・住みよい菊川の会（カップ大会）
- ・PTA、子ども会（川の管理、草刈り）

◎取組内容

- 取組①：ホタル祭、ホタル再生
- 取組②：川の散策道
- 取組③：河川敷をつくる
→カップ大会の再開（富田川への愛着、PTA・子ども参加）

◎取組のスケジュール

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			桜祭り	石積みものづくり	宝さがし	ウナギのつかみどり	川くだり			菊川祭り	
						カヌー教室					

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・若い世代の参加
- ・今活動している人と若い世代の交流・協力
- ・実行委員会団体の立上げ
- ・支える人材、人集め
- ・川でのルールづくり
- ・勉強会（川の仕組み、維持管理）

《事業者・団体の役割》

- ・地元への協力（社会貢献）
人手、お金など
- ・維持管理

《行政の役割》

- ・県（管理者）と地域の連携
- ・住民意見を取り入れる
- ・教育の方法の見直し（川で遊んでもよい）
- ・取組の支援、補助
- ・ダム放流の仕組み
- ・川の景観づくり

ウォーキング道づくり（新畑白石線）

◎取組の目的

- 目的① 自然の景観を守っていくため
- 目的② 町と中山間地域との関わり合いを深めるため
- 目的③ 健康増進のため
- 目的④ 林道の整備のため
- 目的⑤ イベント等によるコミュニケーションづくりのため
- 目的⑥ 文化財保存のため

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・清水さんをはじめとする地元の人
- ・朝・夕の散歩されている方々
- ・観光協会
- ・広域団体
- ・地域の見守り隊

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・周辺の自治会
- ・勝間（熊毛総合支所）の職員
- ・岩崎先生
- ・観光ボランティア
- ・婦人会
- ・ボーイスカウト（基地がある）
- ・勝間まちづくり協議会
- ・PTA（こども会）

◎取り組む場所

- ・現地（ウォーキング道）
- ・勝間ふれあいセンター

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・協力体制をつくる
- ・広報する
- ・ボランティアの整備
- ・ボランティア団体の募集
- ・各地域へ呼びかける
- ・イベントの開催
- ・見守りをする

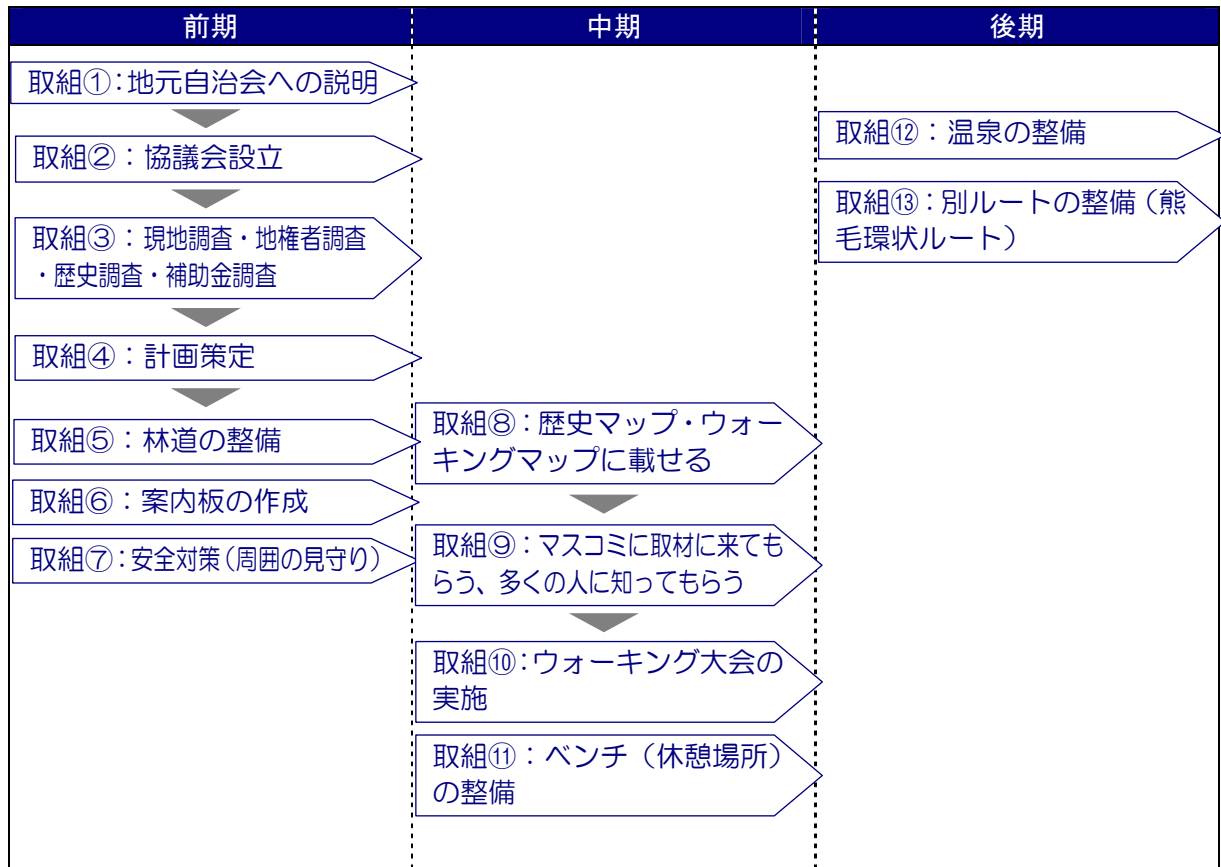
《事業者・団体の役割》

- ・補助資材の提供

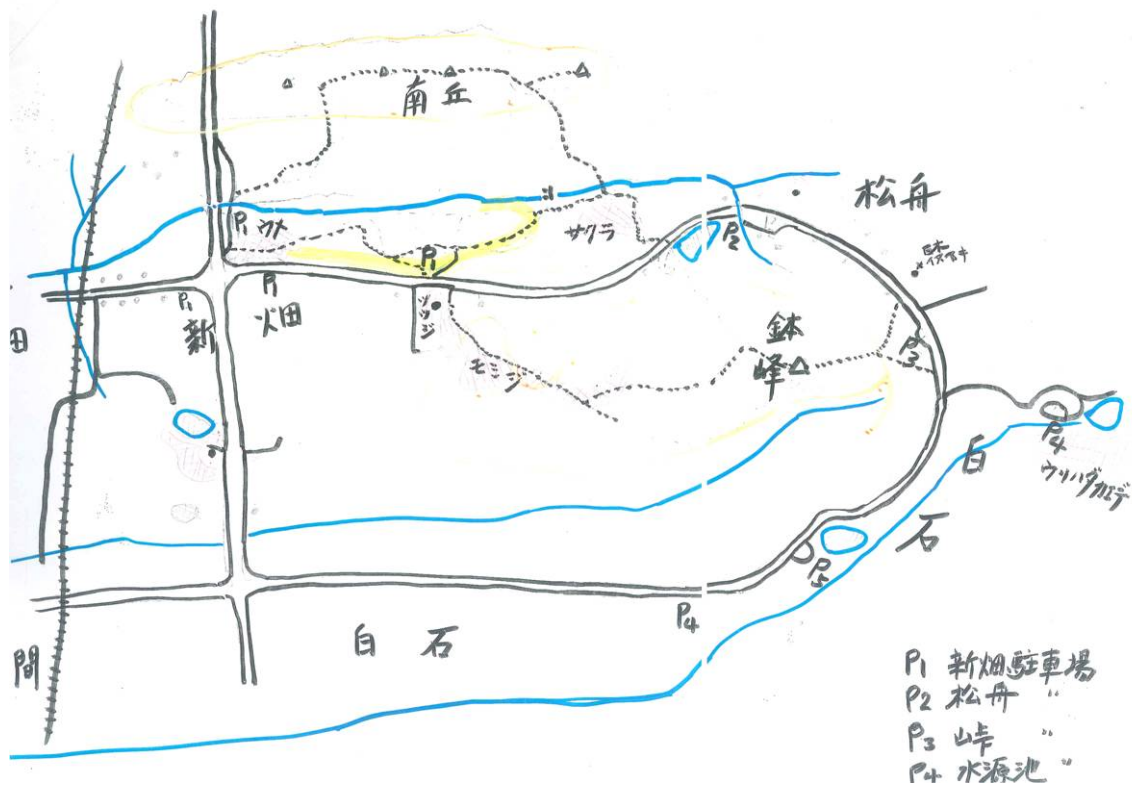
《行政の役割》

- ・広報する
- ・補助金
- ・補助資材の提供
- ・森林税の活用
- ・里づくりの活用

◎取組のスケジュール



《ウォーキング道づくりの計画》



熊毛復耕ボランティア連絡協議会の設置

◎取組の目的

- 目的①** 日本の農業を守るため
- 目的②** 担い手育成事業の拡大、若い人の農業参加のため
- 目的③** 農業の振興・休耕地の復耕・農業の効率化のため
- 目的④** 地産地消、食育のため（学校給食に地元の食材を出したい）

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・ 地区リーダー
- ・ 農地の後継者で悩んでいる人
- ・ 放棄田の所有者
- ・ 農業をやってみたいと思っている人
- ・ オーナー

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・ 協力者
- ・ J A
- ・ 三丘農業法人
- ・ 行政（休耕地の整理、斡旋）
- ・ 建設会社



◎取り組む場所

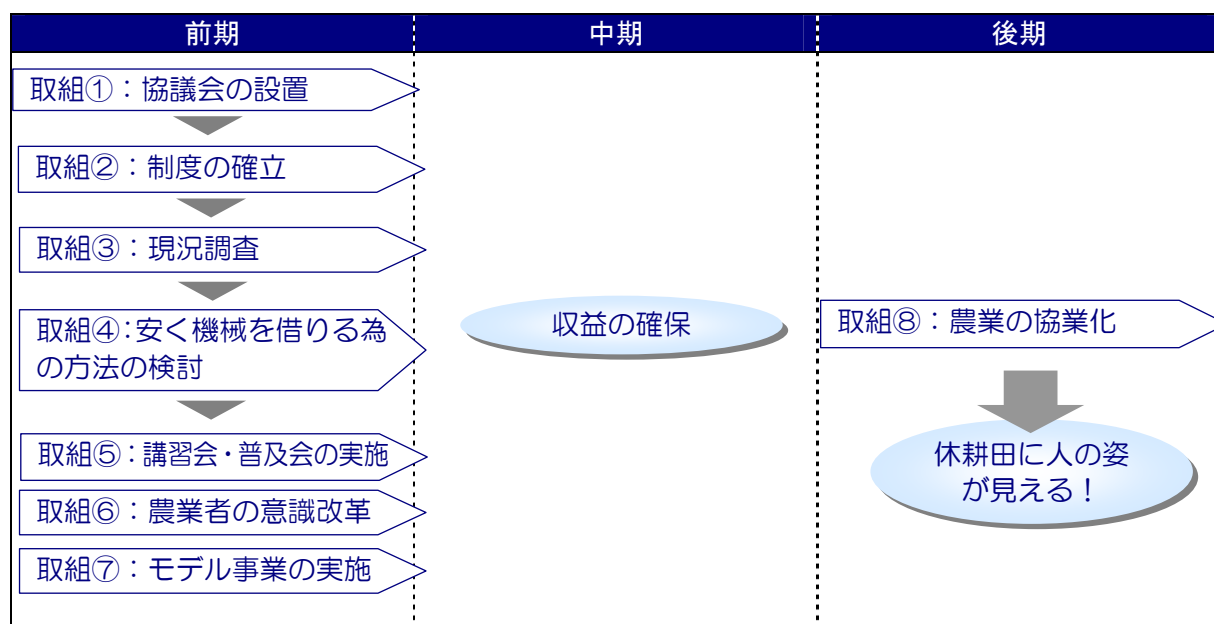
取り組む場所

- ・ 2号線より南側の田
- ・ 三丘地区
- ・ 住宅地に囲まれた放棄田（川沿い）
- ・ J Aの所有地
- ・ 棚田（景観を守る）

取り組む場面

- ・ 学校の授業
- ・ 体験学習
- ・ 講習会

◎取組のスケジュール



◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・ 農地を所有している人は、しっかり管理する。
- ・ 熱意を持つ。
- ・ 若い人の体験学習。
- ・ ボランティアで協力する。
- ・ 興味を持つ人（仲間）を増やす。

《事業者・団体の役割》

- ・ J Aとしての仕事をしっかりする。

《行政の役割》

- ・ 情報提供。

遊休地を耕したふれあいの場づくり

◎取組の目的

目的① 遊休地をなくすため（景観にも良い）

目的② 自給率を上げるため（学校給食）

目的③ 食農教育の場として活用するため

目的④ 道の駅に特産品を出すため

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・ 遊休地再生隊
- ↑
支援
- ・ 女性グループ—熊毛婦人会
 - ・ 男の人 4～5人／10人

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・ 老人クラブ
- ・ 勝間小学校
- ・ 小学生、先生、親
- ・ 地域の人

取り組みを拡大したい
協力の輪を広げたい

◎取り組む場所

- ・ 勝間周辺の場所（川がある、団地がある）

◎取組の課題

（1）遊休地再生隊の取組

- ・ 熊毛婦人会で花壇の管理に取り組んでいるが、声かけで取り組む必要がある
- ・ 老人クラブとか助けてくれるようになっているが、すべて婦人会が声かけをしているので、一緒に主体的にかかわる団体の協力が欲しい

（2）農業生産の課題

- ・ 畑の管理・農地の維持管理
- ・ ある程度規模のある大型生産活動をしたい など

（3）農業委員会の取組

- ・ 遊休地を調べている
- ・ 生ゴミ・土づくりをやっている

一人でも多く協力者が欲しい
畑づくりをする人を集めたい

取組①：人材バンクをつくろう

◎取組内容

取組①：人材バンクをつくろう

- ・ノウハウあり
- ・技術あり
- ・体力あり
- ・気力あり
- ・やる気あり
- ・本気の人



《こんなことに取り組みたい》

- 取組②：特産品づくり
- 取組③：道の駅へ参画などPR
- 取組④：大学との連携（若い女性をまきこむ）
- 取組⑤：「無農薬の野菜をつくりませんか？」呼びかけ・広報活動
- 取組⑥：道の駅へ出荷・生産活動

虎ヶ岳登山道の整備

・校歌にも歌われている虎ヶ岳において、これまでの取組を続けながら、登山ルートを整備して、観光資源として活用していくアクションプランである。

◎取組の目的

- 目的①** 観光名所にするため
- 目的②** 景観を守るため
- 目的②** 虎ヶ岳へ登れるようにするため

【課題】

- ・ルート整備
- ・人材確保
- ・倒木の処理
- ・草刈り
- ・道がくずれする箇所の保全・整備
- ・トイレがない など

◎取組の主体

・愛好会（20～30人・高齢化している）
⇒年2回活動（春・秋）
登山イベント、頂上でゲーム（ご来光）

連携が必要

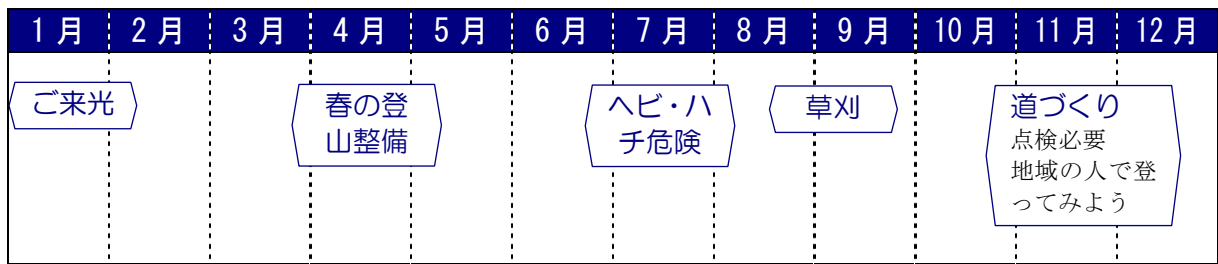
・有志
⇒いろいろやっている様子

◎取り組む場所

- ・常安寺～ルート
- ・立岩～ルート

◎取組のスケジュール

前期	中期	後期
危険箇所の修理（崩れそう、落ちそうな箇所がある）		
大河内コミュニティを通じて人を集める		
団地へ協力要請に行く	共に大切にする	
ワークショップ話し合いの場に新しい人・団地の人を参加させる		
P.T.Aに働きかける（小学校へ協力）	周南、光で連携してイベントを行う	



◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・若い人をまきこむ、参加させる
- ・地域リーダーの役割が大切
- ・次のリーダーを育てる
- ・小学生は年に何回か登っている
- ・参加呼びかけ
- ・参加したくなるアイデアを考える

《事業者・団体の役割》

- ・中電への協力依頼

《行政の役割》

- ・危険箇所の整備を！
- ・PR
- ・観光マップへ記載！

干潟の活用

◎取組の目的

目的① 自由な利用ができるようにするため（干潟の開放）

目的② 地域の財産にするために

目的③ 市民共通の財産として守る

◎取組の主体

- ・ 地域で管理
- ・ 窓口は連合自治会

連携が必要

- ・ 4者会合との連携
⇒ 国・市（水産）・漁協・連合自治会

◎取組内容

（1）地域として活用する取組

取組①：海水浴

取組②：小学生の遠泳大会

・ 今の状態でもできる!!

（2）まち全体へ活用を広げる取組

取組③：あさりも取れる、海水浴もできる

取組④：散歩・憩いの場・公園

取組⑤：釣り

取組⑥：子どもが学習できる場

◎取組のスケジュール

前期	中期	後期
連合自治会で協議	漁協⇒あさりができるか、できないか、はっきりと	
連合自治会へ提案		

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・地域でどうしたいか方針を考える。
- ・連合自治会でも作戦会議を行う。
- ・活用について話し合う。
- ・将来像を描きたい。

《事業者・団体の役割》

- ・情報交換。
- ・漁協と話ができる場を設ける。

《行政の役割》

- ・市の窓口をはっきりとする。
- ・市から国・漁協へ要望。
- ・工期とスケジュールをはっきりとする
- ・行政のヨコの連携。



＜大島の干潟＞

貴船祭の受け入れ体制づくり

◎取組の目的

目的① 地元の祭りとして守るために

目的② 来た人の世話ができるようにするために

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・保存会
- ・宮総代会



《連携・協力が必要な団体・人》

- ・市の青年団
- ・参加者

◎取組にあたっての課題

場所の問題

- ・公民館の充実
- ・設備の充実（トイレ・シャワーなど）

人の問題

- ・伝馬船の踊りの伝承
- ・担い手、若者がいない（地元のもの）

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・地元の負担
- ・中学生が伝馬船を練習
- ・伝馬船は外の人に参加してもらい、踊子は地元で行う
- ・出身者への呼びこみ
- ・OBの動員
- ・小学生のホーランエンヤ歌・踊り

《事業者・団体の役割》

- ・企業の参加 4～5人
- ・運営資金
- ・保存会同士の連携

《行政の役割》

- ・トイレシャワーの設備
- ・市全体の祭りとして支える
- ・伝馬船を市役所にもっていきみんなで練習する
- ・市の文化財に指定
- ・国の補助（文化庁に提案）



< 裕島の貴船祭り >

ボランティア活動のしくみづくり

◎取組の目的

目的① 地域の景観問題を改善するため

目的② 島をきれいにするため（草刈も大事）

目的③ 島の観光振興のため

【課題】

・景色は良いが、草で荒れている

◎取組の主体

◀島内の取組主体▶

(1) 「地域の景観問題を改善するため」の主体

- ・自治会（刈尾など）
- ・コミュニティ推進協議会 など

【コラボレーション】

- ・人材がない（島の人が案内するのは難しい）
- ・島外とのコラボレーション・連携
- ・若い人を呼びこむ

◀島外の取組主体▶

(2) 「島をきれいにするため」の主体

- ・断酒会（山陽小野田市からのボランティア）
- ・エンタープライズ（周南市）という団体もある（6名程度） など

(3) 「島の観光振興のため」の主体

- ・島に来た人に説明してくれる人
- ・「風の会」を広める など

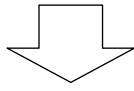
◎取組にあたっての問題点

(1) 食事の問題

- ・平日の食事を工夫する。
- ・食堂に1人でも専門の人を配置する必要がある（管理は漁業組合）。
- ・土日以外をどうフォローするかが課題。
- ・食材を活かしてものを作って売る。

(2) 取組の問題

- ・耕作地を活かして都市から人を呼ぶ。
- ・魚つり体験 など



【課題】

- ・継続が難しい（なぜ？）

- ・海水浴場が激減している。船代が高い。
- ・環境が悪い。
- ・整備されていない（日かげがない、テントがない）。 など

◎取組内容

(1) 「地域の景観問題を改善するため」の取組…草刈・ゴミ拾い

取組①：草刈

取組②：道路のゴミ、海岸のゴミの清掃活動

取組③：自治会の役員が草刈をやる

【課題】

- ・道路の草刈に限界がある

(2) 「島の観光振興のため」の取組…PR活動

取組④：島外でPR（広報、紙芝居など）

取組⑤：まず島を知ってもらう

取組⑥：ここにしかないものを広める

取組⑦：食べる所、泊まる所の紹介

【課題】

- ・PRしても実情が伴わない

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・「風の会」への参加・連携
- ・「風の会」会員募集
- ・何かの活動のときの声かけ
- ・ボランティアグループへの呼びかけ
- ・ボランティアの方々の食事の世話など

《事業者・団体の役割》

- ・ボランティアグループなどによる草刈
- ・断酒会（山陽小野田市）との連携（年に2回程度）

《行政の役割》

- ・ヨコのつながり
- ・ボランティアグループと行政との連携
- ・有料で自治会などに委託する
- ・遊歩道への看板設置
- ・PR面での連携

Uターン・Iターン対策

◎取組の目的

目的① まち・集落の景観を守るため

目的② 人手を確保するため

◎取組の方策

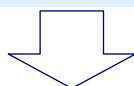
（1）住宅の確保

取組①：空き家いっぱいあるので活用する

取組②：空き家をきれいにする

【取組主体】

・各地区自治会



（2）住みたい人を呼ぶ、住みたくさせる

取組③：定住でなくとも、時々居住できるようにする

取組④：環境面の安心をPRする

取組⑤：島外へも情報（冊子をつくる）

【PRポイント】

・病院へ行きにくいだが、救急艇がある
・交通の便もよくなった



（3）アクセスの改善

取組⑥：島内の移動（バスの運行、フェリー・車での移動）

取組⑦：買い物不便である。便の見直し。

◎取組のスケジュール

前期	中期	後期
取組⑧：空き家調査	取組⑪：お見合いイベント	
取組⑨：マップづくり		
取組⑩：情報発信		

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・活用できるか所有者にきく。
- ・使える空き家を調べる。
- ・空き家マップを作る。
- ・空き家の資料づくり（詳しい情報が必要）。
- ・HPで発信する。
- ・体験で受け入れる（体験してもらおう）。

《事業者・団体の役割》

- ・大津島だけではなく、同様の地域との連携。

《行政の役割》

- ・大津島の民家を利用できるようにする。
- ・修繕のための補助金。
- ・市営住宅をつくる。
- ・情報発信が必要（中山間地域を含めて）
- ・広報・HPにのせる・PR。



<大津島>

八代・中須地区相互の連携による取組

・八代と中須は、よく往来していた歴史があり、景観まちづくりをテーマに交流を深めるためのアクションプランである。

◎取組の目的

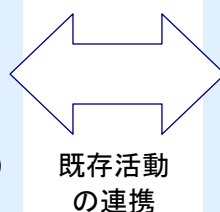
目的① 住みやすい里づくりのため

目的② それぞれの活動では行き詰まりがあることから、他地区と連携しながら進めるため

◎取組の主体

(1) 八代地区の活動団体

- ・コミュニティ推進協議会
- ・各地区の社協
- ・老人クラブ（八代は活発：65才以上）
- ・自治会連合会 など



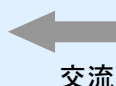
(2) 中須地区の活動団体

- ・よりよくする会（コミュニティ推進協議会）
- ・社協
- ・自治会連合会 など
- ※中須はリーダーがない

◎連携の考え方

取組①：清流の会とツルのエサの交流

棚田清流の会



無農薬ツルのえさ



相乗効果
期待される

取組②：小中学校の統廃合

- ・八代・中須で考える方がいいと思う（課題が同じ）

取組③：共通の資源の活用

- ・水＝棚田、稲作の水が同じ
- ・ツル＝中須にもツルがいたが、開発でいなくなった
- ・魚切の滝（中須にも八代にもある）

◎相互乗り入れするための取組

(1) 共同のイベント・取組

取組④：公民館同志の連携

取組⑤：中須再発見ウォーキング

・八代のウォーキング 2ヶ月に1回やっている

取組⑥：郷土史懇話会

取組⑦：歴史・景観ウォッチング

取組⑧：八代 vs 中須ソフトボール対決

(2) 情報交換

取組⑨：チラシなどの情報交換

取組⑩：互いに話し合う、視察しあう場

取組⑪：八代と中須のマップづくり

・中須マップはあるかもしれないが、八代もマップがいる



<中須の棚田>



<八代地区の田園風景>

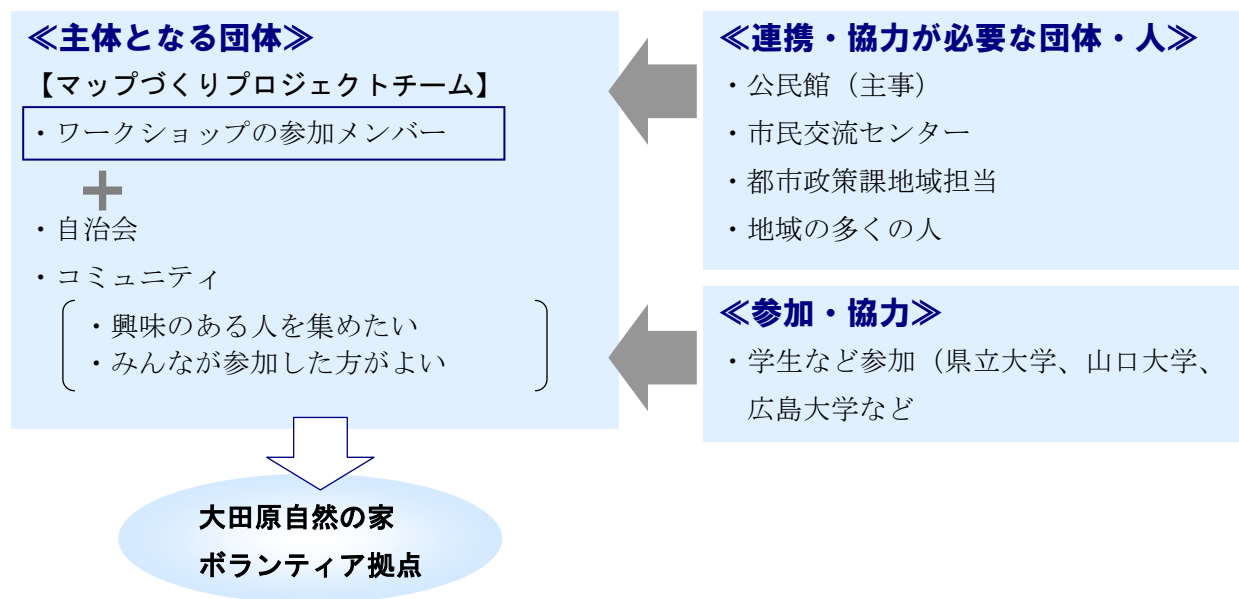
景観お宝マップをつくろう

◎取組の目的

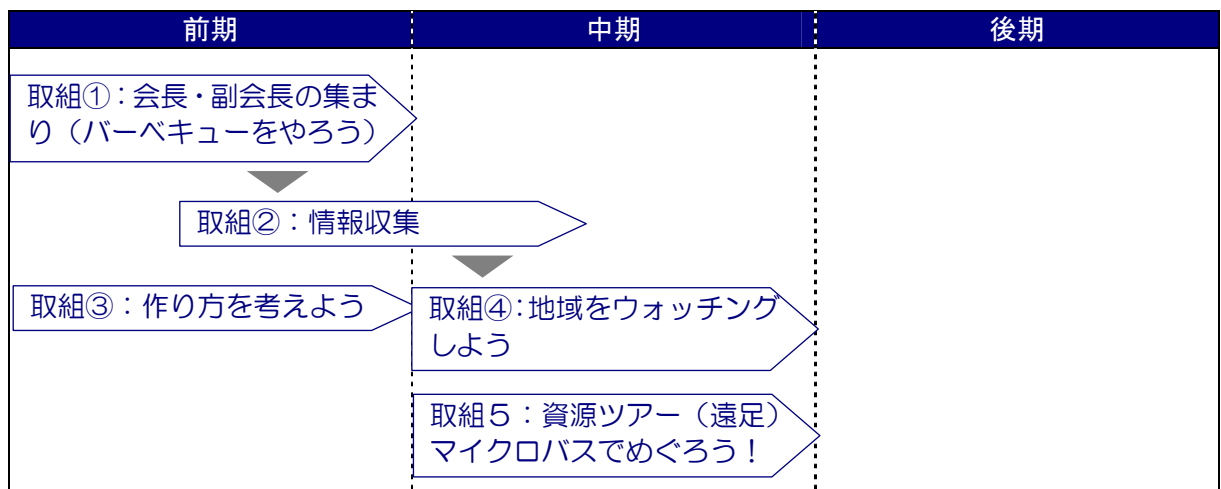
目的① 八代・中須地区の連携のため

目的② 地域の景観資源を学ぶため

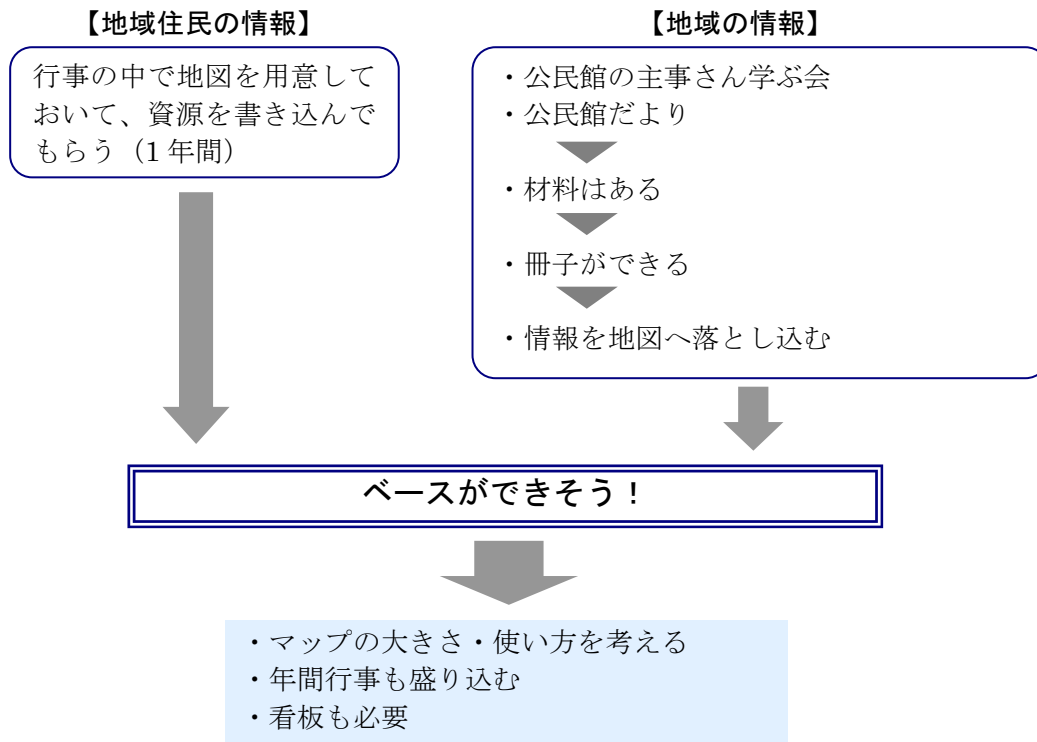
◎取組の主体



◎取組のスケジュール



◎情報を集める方法



◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》	《事業者・団体の役割》	《行政の役割》
—	—	・資金が必要（行政へも相談する） ・いのち育む里づくりの活用

街を明るくする活動

・LED でライトアップし、街を明るくするアクションプログラムである。

◎取組の目的

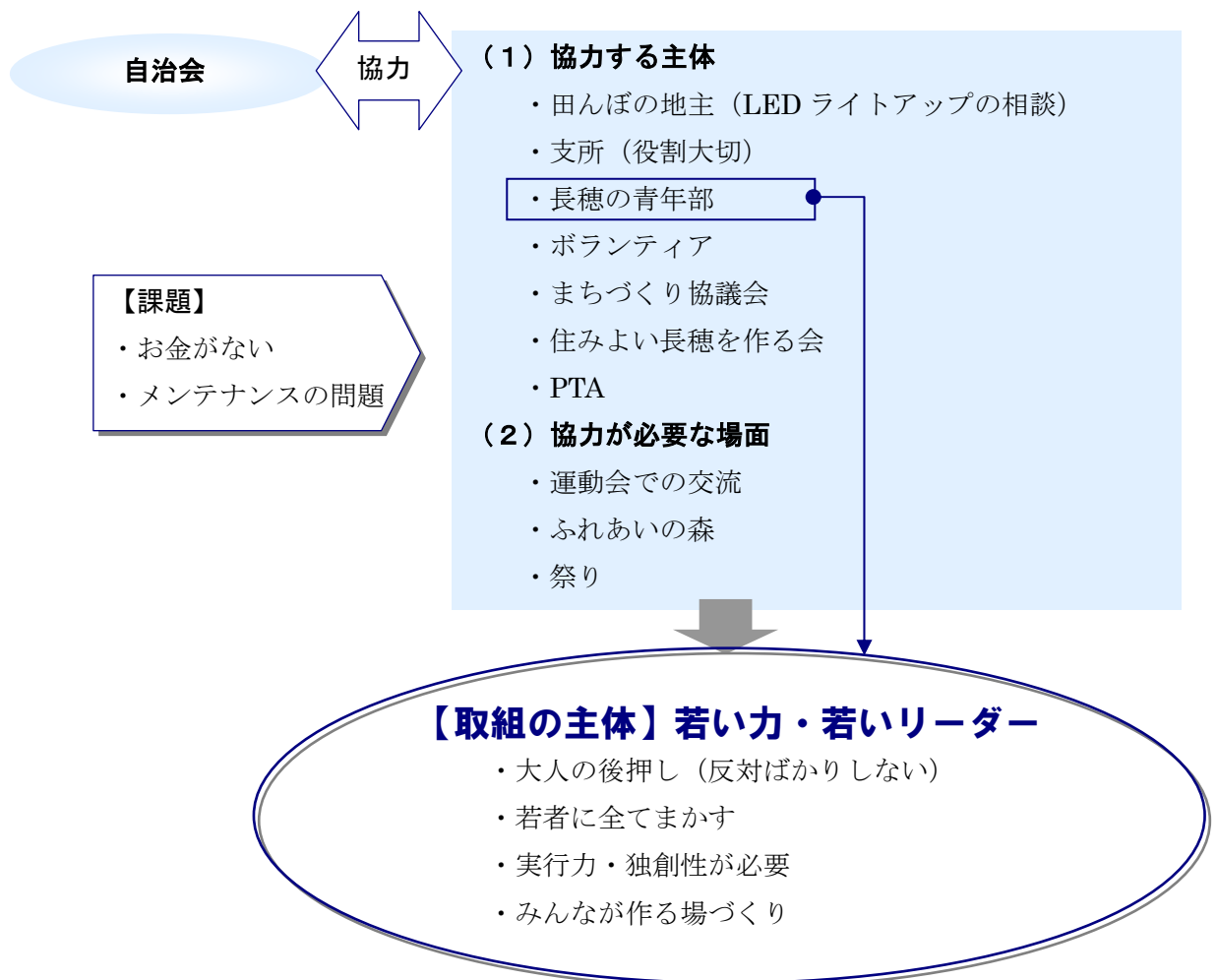
目的① 景観美化、地域の名物にするため

目的② 若者が住みたくなる街にするため（求心力）

目的③ 人間の交流のため

目的④ 防犯のため

◎取組の主体



◎取組の方策

(1) ホタル祭りで活用

- ・カブト虫・ほたる
- ・ホタル祭りの看板照明
- ・小学校の屋上

(2) ライトアップする場所

- ・明るくなると効果がある場所
例)・飛龍八幡宮
 - ・龍文寺
 - ・バス停のライトアップ
 - ・農業改善センター

(3) LEDの勉強

- ・LEDは用途によって違う



・自然環境にやさしい、街を明るくする LED

休耕田・空き家の活用

◎取組の目的

- 目的① 田園景観を守るため
- 目的② 自然を大切にするため
- 目的③ 利用しやすい環境にするため

テーマ

- 若者が農業に関心をもつ
- 農業をしたい若者が空家利用

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・集落法人
 - ・65才からの農業
 - ・退職帰農者のノウハウの活用

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・行政からのアドバイス

◎取り組む場所

- ・説明会（集まりやすい場所）

◎取組内容

（1）空き家の活用方法

取組①：活動の拠点、たまり場として活用



更に…

取組②：大人のかくれ家として活用

取組③：子育て施設の拠点として活用

- ・須々万は子どもが育てやすい

取組④：高齢者の拠点として活用

- ・毎日行ける場所
- ・近くの場所

（2）新しい可能性

取組⑤：牛と人とのふれあい（ヤギと羊も）

取組⑥：レンタカウの実験

- ・土へ堆肥を返す
- ・レンゲ畑

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・空家状況の確認

《事業者・団体の役割》

—

《どうしても必要な行政の役割》

- ・制度の活用・PR
- ・縦割行政の解消
- ・情報の共有化
- ・補助制度
- ・安心して参加出来る仕組みづくり

空き家・空き畑対策

◎取組の目的

目的① 地域の活性化・勢いを取り戻すため

目的② 昔からの景観を守るため

◎地域の強みと弱み

強み

- ・お年寄りが元気
- ・農業指導者は、多い
- ・向道地区は移動が楽

弱み

- ・維持管理が困難
- ・トイレの問題（浄化槽緩和）

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・地域が主力メンバー
- ⇒【対策】グループの立上げ

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・別居の息子たち
- ・市からアドバイザー
- ・他地区との連携

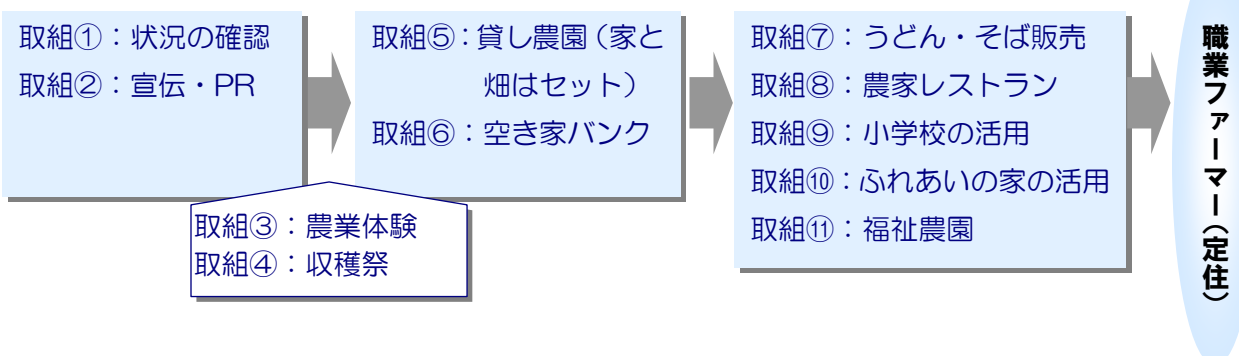
◎取り組む場所

- ・地域全体

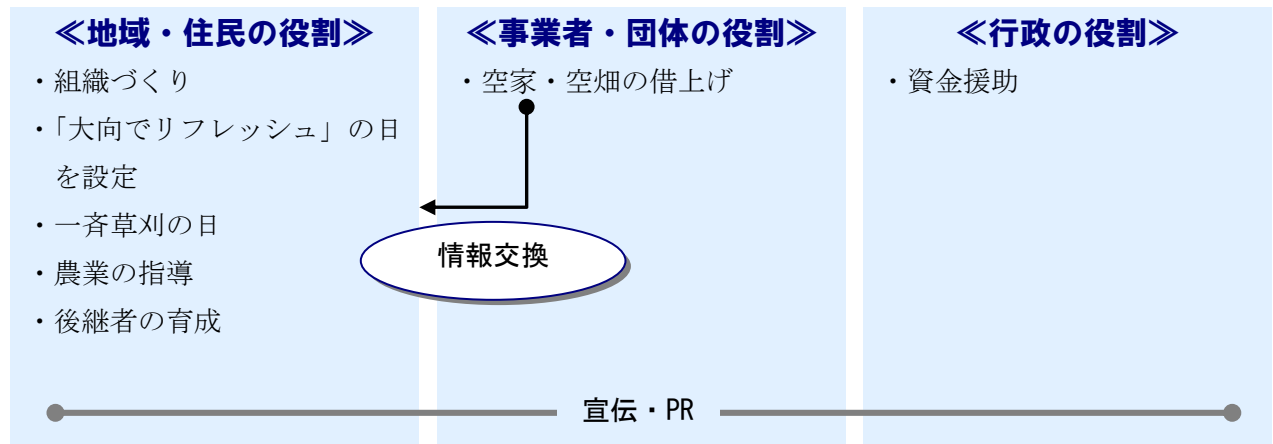
【前提】

- ・共通認識
- ・地域の方の理解

◎取組の流れ



◎取組の役割分担



芝桜の取組の協力

- ・百笑倶楽部を中心とした芝桜の取組を景観まちづくりとして続けていくとともに、地域全体へ広げていくアクションプランである。

◎取組の目的

- 目的①** 田園風景を守るため
- 目的②** 交流拠点の活性化につなげるため
- 目的③** 農地の手間をはぶくため
- 目的④** 大道理全体の問題に対応していくため

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・百笑倶楽部
- 〔 ・7人くらいでスタートしたが、減ってきた
・地域の人とともに作り直そう！ 〕

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・市住民、地域住民をまきこんでいる
- ・お助け隊 など

◎取り組む場所

- ・大道理全体
⇒『百笑倶楽部』は大道理全体の取組だが、鹿野地だけのイメージなので、地域全体を考えるグループとした方が良い。

◎取組にあたっての課題

（1）組織づくりの課題

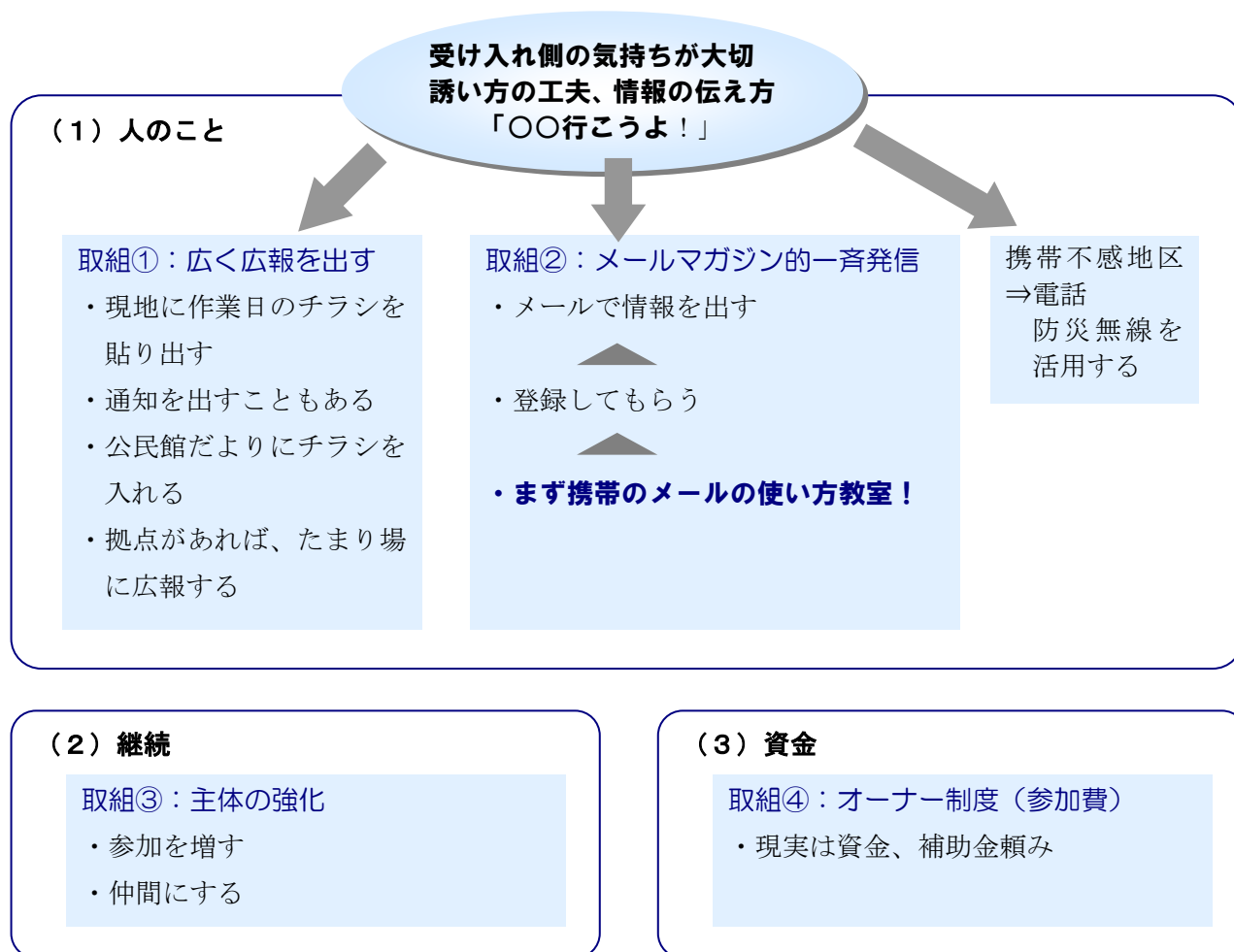
- ・組織の強化
- ・協力者、参加者を増やす
- ・PTA などの子育て世代は多忙である

（2）周知・PRの課題

- ・PR・全体の取組を共有する必要がある
- ・周知活動が必要
- ・声がかかるとを待っている人がいる
- ・口コミだけで広げたいが、出会うチャンスがない

地域にとけこみにくい
情報が無いと入りにくい

◎取組の方策



魚切の滝の周辺整備

◎取組の目的

目的① 山口県1番の癒し（IYASHI）スポットにするため

- ・すごい気持ちがいいが、1人ではこわい

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・大道理をよくする会
- ・魚切の滝整備開発班

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・会にとられず地域の人に参加
- ・会があった方が、参加しやすい声もある
- ・もっと！女性の力も大切に
- ・行政支援（補助金もある）

◎取組の方向性

（1）課題

- ・事務局がないゆえにあいまいである。
- ・チラシだけでは人が集まらない（見なかったことになっている）。
- ・声のかけ方が悪い。
- ・女性にできる事がある。
- ・安全性の確保が必要。

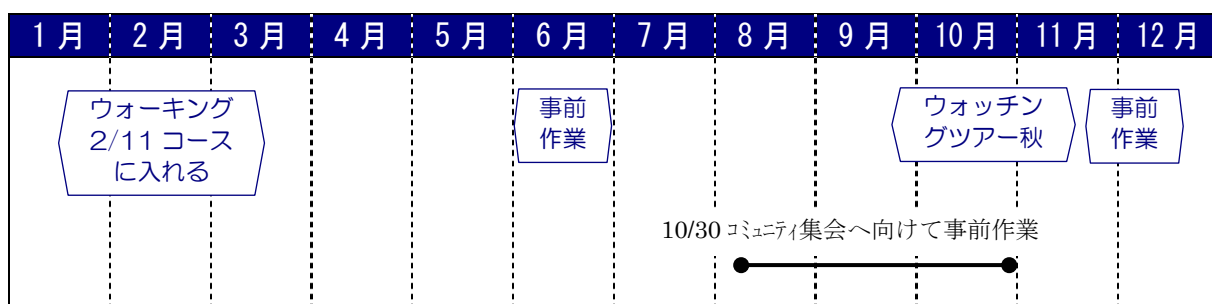
人手不足

地域の人に、
知ってもらおう

（2）将来的な方向性

- ・継続的に関わっていきたい
- ・魚切の滝が山口県の代表になるようにしたい。
- ・6つくらい滝がある。誰でも行けるようにしたい。

◎取組のスケジュール



◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

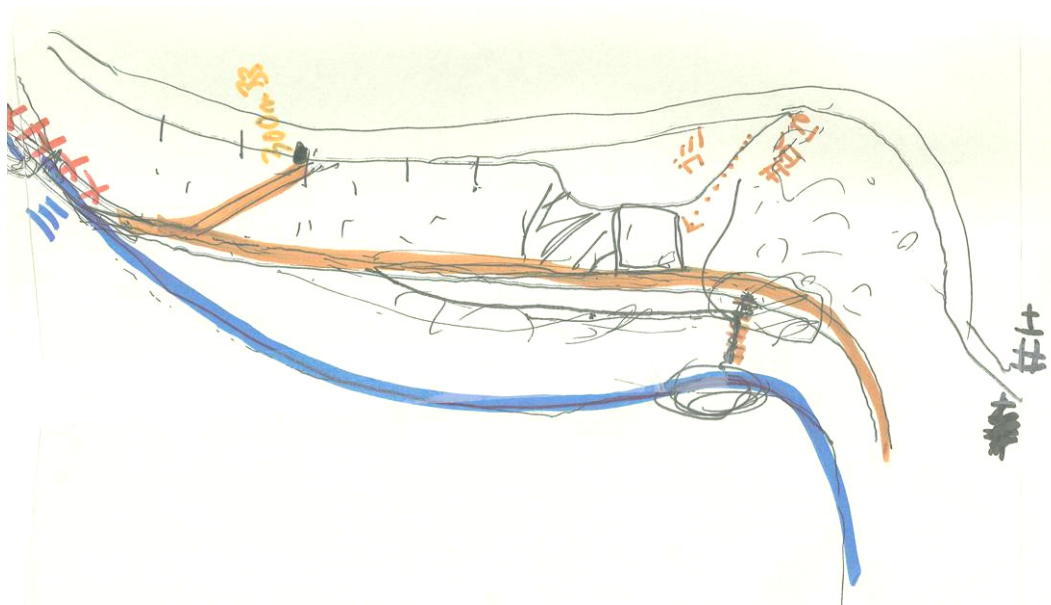
- ・子どもに伝えておく。
- ・子どもまじえて、ウォッチングツアーを実施。
- ・作業のことも情報発信をする。
- ・参加意欲・意識をほりおこす。
- ・女性でも〇〇できるかもという気になる。
- ・段々、まくら木の整備。
- ・今年中に降りれるようになる。

《事業者・団体の役割》

- ・イラストマップづくり

《行政の役割》

- ・安全基準はあるのかなどの情報提供。
- ・補助をもっと出してもらおう。



地域資源を探すツアー

- ・和田地区は広いので、5つの地区のお互いのことが知っているようで知らないことがある。各地区には、地元にいれば気づかないが、外から来る人にとっては、良いものがある。既にある観光ルートを活用しながら、新しい目玉を発見するアクションプランである。

取組の概要

- 和田地区全域を知る
- 歴史を学び、後世に残す
- 観光ルートを活用、ツアーを実施
- 若い人の思いで、新しい目玉を発見する
- 新しい名物→三作の湯、民家のフランス料理屋

◎取組の目的

目的① 茶畑、川、山の景観をクローズアップするため

目的② 和田地区の歴史をするため

【和田を代表する景観】

- ・高瀬峡
- ・崖石溪

◎取組の主体

《地域で連携する人》

- ・地区の人(祭りをする人)
- ・和田公民館職員
- ・地元歴史研究者
- ⇒地元の歴史を語る後継者

《案内する人》

- ・観光ボランティア(周南市)

《参加する人》

- ・観光客

◎取り組む場所

- ・和田公民館・支所
- ・加工所（グルメツアーなど）

◎取組内容

(1) 観光ルートを活用、ツアーを実施

- 取組①：おすすめルートを設定
- 取組②：和田地区グルメツアー
- 取組③：史跡めぐり（島地川ダムマップを作った時）
- 取組④：観光ツアーの実施

(2) 新たな名物

- 取組⑤：民家を利用したフランス料理
- 取組⑥：「三作の湯」をPRする

(3) 広める、伝える

- 取組⑦：フォトコンテストを開催する

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・退職者のその後を受け入れる
- ・計画をたてる
- ・観光情報を整理する

《事業者・団体の役割》

- ・加工所の人々がグルメツアーを行う
- ・新しい店の経営者が出てくる

《行政の役割》

- ・仕掛けても知らないふりをしない
- ・地区の史実を整理する
- ・観光ボランティアを養成する
- ・空き家バンクの活用



<高瀬峡>

特産品の生産、販売

◎取組の目的

- 目的① 周南市唯一の茶畑の景観を守るため（生産中止の場合、荒れ地になる）
- 目的② 地場産業の生産技術の伝承のため
- 目的③ 地産の名品を作るため（地域性(特性)を出すため地のものを使って作る）
- 目的④ 地域の経済を活性化するため

和田地区を代表する地場産業

- 高瀬茶
- わさび
- みそ
- こんにゃく

加工グループによる新製品の開発
大いなる可能性

◎取組の主体

《主体となる団体》

【現在】

- ・組合
- ・工場（お金がかかる）



【これから】

- ・オーナーを探す
- ・後継者（受けてくれる人）

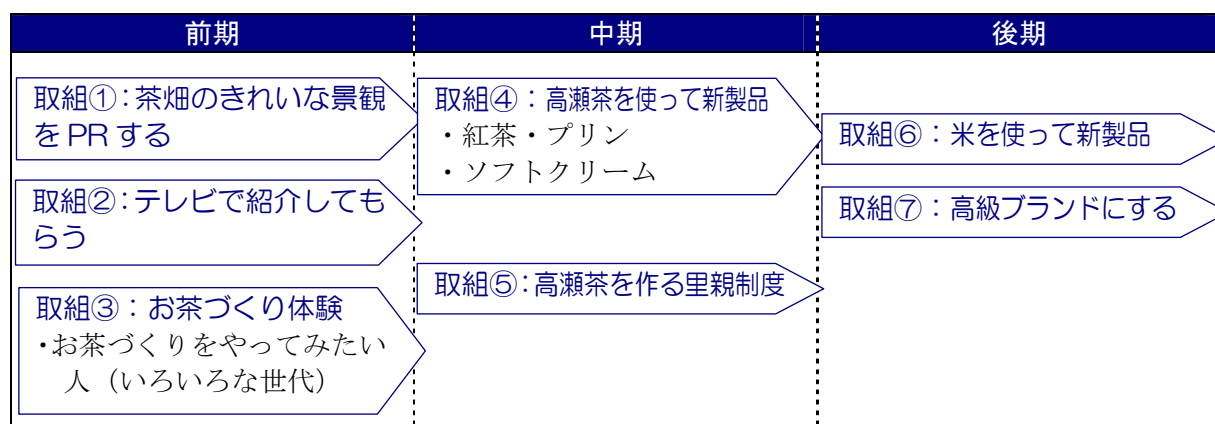
《連携・協力が必要な団体・人》

- ・地域住民の理解・協力
- ・和田小学校の児童
- ・ボランティア（草刈りなど）

◎取り組む場所

- ・地域の中の販売所（売るところ）
- ・究極のお茶を飲むことができる場所をつくる（道の駅など）

◎取組のスケジュール



◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・ 継続する、現状維持する
- ・ みそ、大豆、こんにゃく玉を地元で作る
- ・ 自助努力をする
- ・ 現生産者の子どもに作らせる
- ・ 体験教室を開催する
- ・ 地域住民の理解

《事業者・団体の役割》

- ・ 農協の補助

《行政の役割》

- ・ 市の補助
- ・ 特産品保護条例をつくる（農水省）
- ・ 中山間を補助する条例をつくる
- ・ 個別補償をする



<高瀬の茶畑>

花いっぱいのもちづくり

◎取組の目的

目的① 鹿野らしい景観づくりのために

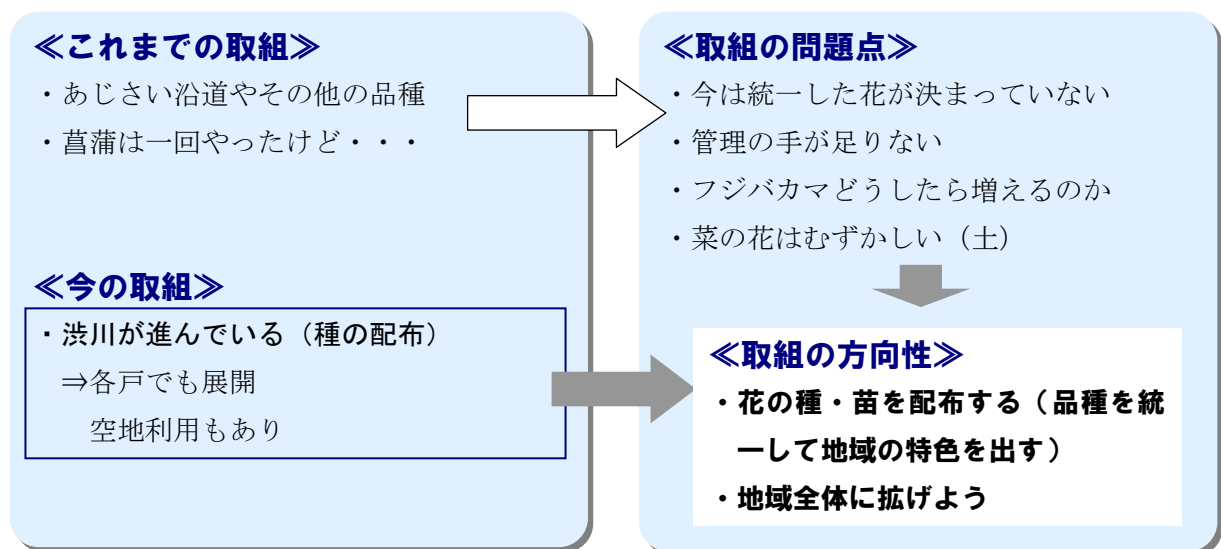
目的② みんなの力を一体にするために

◎取り組む場所

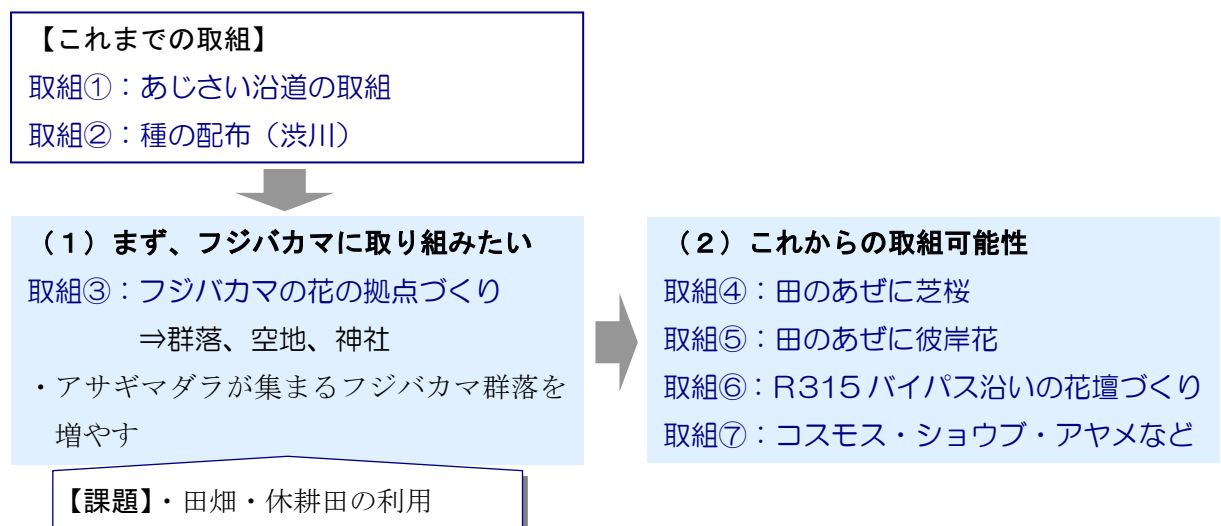
・取り組む場所によって、取り組む内容も異なってくる。

①各戸 ②沿道 ③空地

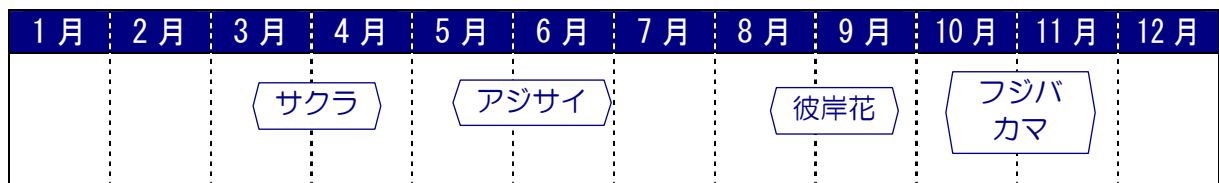
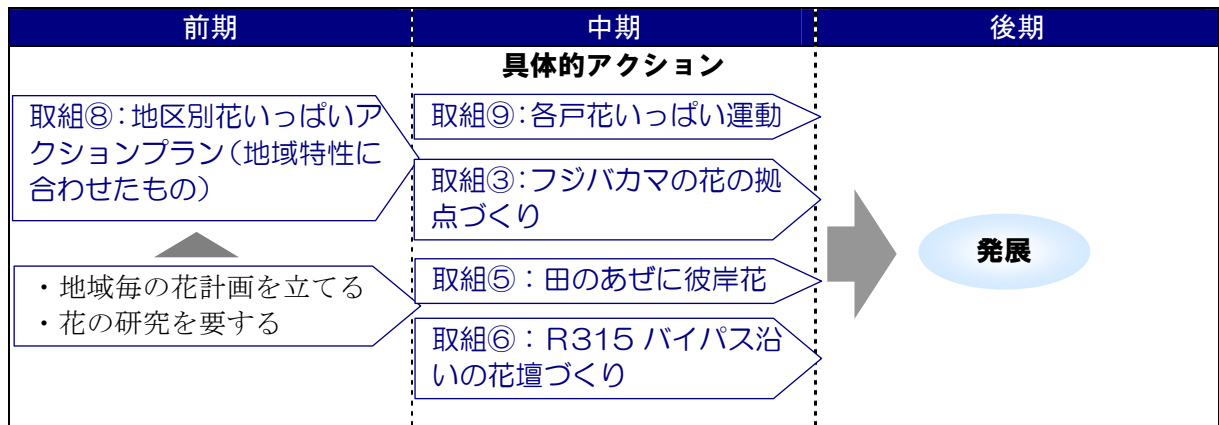
◎これまでの取組と課題



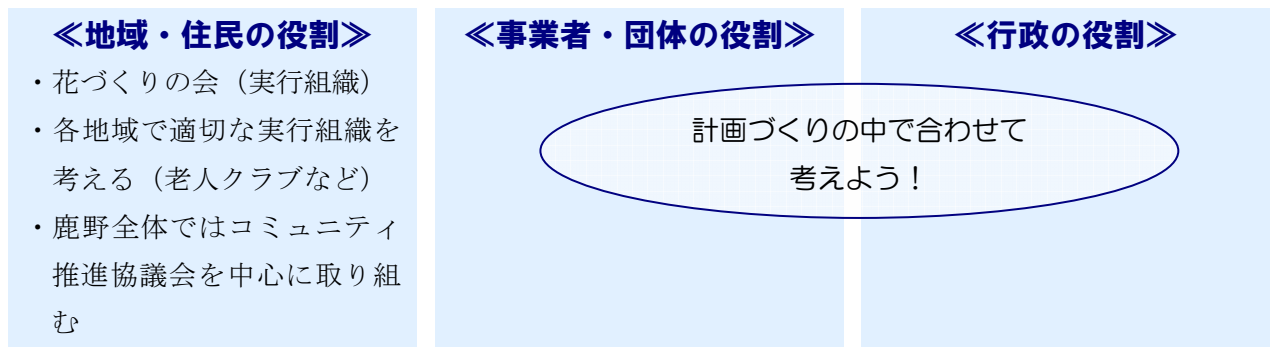
◎取組の方策



◎取組のスケジュール



◎取組の役割分担

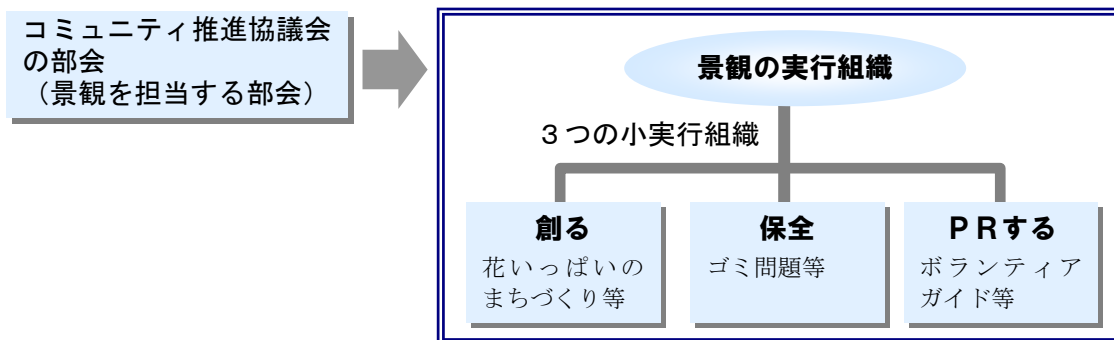


地域の景観づくりの組織・システムづくり

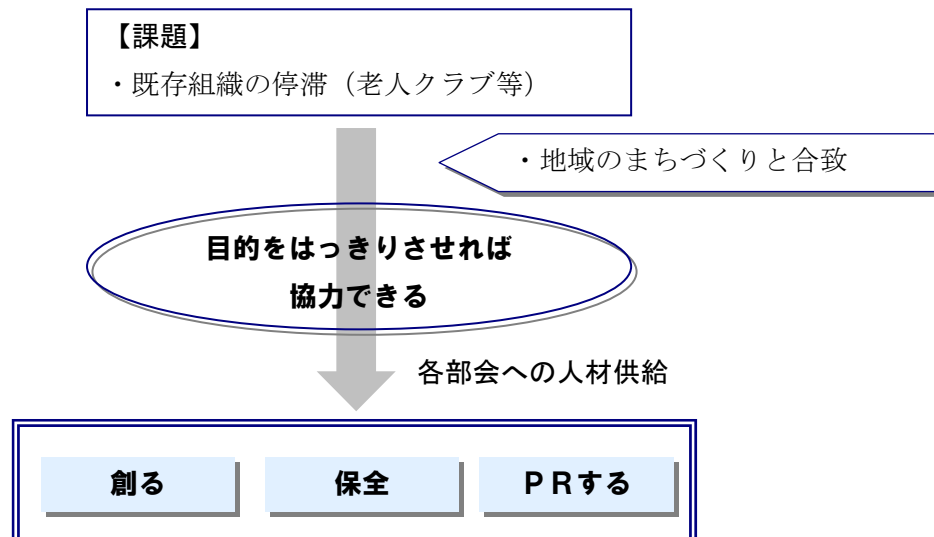
◎取組の目的

目的① 地域の景観づくりを進めるため

◎取組の主体



◎取組にあたっての課題



◎取組の方策

(1) PR するため、観光の受け入れの拠点

取組①：ボランティアガイドの基地づくり

取組②：受付場所の設置

- ・市全体の受付は市が行う
- ・地域の窓口は商工会（どこかの店舗）



**地域で直接に受け入れる
ようになりたい！**

(2) ボランティアガイドを増やす

取組③：ボランティアガイドの研修

- ・現在のボランティアガイドの 14 人（鹿野地区）
- ・ボランティアガイドを増やす必要がある

(3) 組織づくりの具体化

取組④：景観計画の中で「地域の景観づくりの組織システム」として位置づけ

「鹿野の景観を語る会」をつくる

- ・まちづくり活動のきっかけづくりとして、景観まちづくりを実行するための組織づくりに取り組むアクションプランである。

◎取組の目的

目的① 地域づくり・活性化のために

目的② 山野草、自然景観、歴史景観を伝える、教えるために

目的③ 景観に関心をもってもらうために（オミナエシ（自生）、ナデシコ（自生））

◎取組の主体

《主体となる団体》

- ・既存の団体（コミュニティ等）
 - ・まったく新しいグループ（複数）
 - ・強いリーダー（複数）
- ⇒行政によるきっかけづくり

《連携・協力が必要な団体・人》

- ・理想はコミュニティ組織の活用
- ・やる気を持った人で実行するグループを作る
- ・観光ボランティア、その他自治会、市役所
- ・長野山生改連、渋川をよくする会、三虫クラブなど
- ・青年団（若い人）、消防団、PTA
- ・若い人を取り込む（40代も）

◎取り組む場所の課題

- ・若い人の活動できる場がない

◎取組のスケジュール

前期	中期	後期
1 年目⇒複数リーダーのピックアップ	3 年目⇒具体的な活動、内容の検討	
2 年目⇒実行グループの設立（コミュニティの中に）	4 年目⇒出来る活動から順次始める	

◎取組の役割分担

《地域・住民の役割》

- ・参加しやすい雰囲気づくり
- ・受入れ体制づくり
- ・積極的に参加する

《事業者・団体の役割》

- ・合同ガス⇒渋川だけでなく他の地区でも取り組んでほしい

《行政の役割》

- ・きっかけづくり
- ・企業と地域の橋渡し
- ・専門家の活用（アドバイス）

空き家バンクの取組

◎取組の目的

目的① 人口増とにぎわい創出のため

◎現状と課題

現状の空き家バンク

- ・行政の係り方は斡旋のみ
- ・現在登録10数件（鹿野地区3件）

空き家活用の課題

- ・貸し主が改修工事を好まない
- ・補修に費用がかかる（トイレ等）
- ・住みやすさ（インフラ整備）
- ・働く場所がない
- ・趣味の世界から脱していない

◎課題に対する改善策

- 取組①：市のホームページでアピール
- 取組②：家+田・畑をオプションで貸し出す
- 取組③：充実した田舎暮らし

◎活用方法の提案

- 取組④：補助制度などの仕組みづくり
- 取組⑤：ニーズに合わせた情報発信
- 取組⑥：農家民宿（体験）
- 取組⑦：体験指導者の育成
- 取組⑧：修学旅行の誘致
 - ・小学生たちに農業体験してもらう（修学旅行）